.1-		,		<b>*</b> 1	•	, ,	<b>~</b> 1 V	•	1 4	, 0   1   0			•				(単	位:干	円)
- 1	事業属性																		
	事業名	し尿	収集事	業										事業=	コード	540337			
	政策体系	基本	本政策	2 市民一人ひる	<u>-</u> り:	が、自然、環境	竟や地域資源を	守り	, 生かし、次	世代につないでいくま	5 政策	目標	2 地球	環境に	こ配慮し	した持続	可能な	ほちづ	くり
	以来评示	施	策名	2 廃棄物の通	直正	処理と循環	型社会の形成							施策=	コード 2	222			
	事業担当	Ē	所属	05030000 市月	こ総	務部 市民語	果				所原	展長	横山尚	子					
	会計情報	款	0	04 衛生費	項	02	清掃費	目	0	3 し尿処理費	会計	01	一般会	計決	2.算付属	<b>属資料</b>	15	8	頁
	計画期間	開如	冶年度	昭和	終	了予定年度	令和8年度	月	<b>関連計画名</b>	一般廃棄物処理計	画				R4玥	現在の状.	況 ;	継続中	ı
	根拠法令等	廃勇	<b>手物の</b> を	処理及び清掃に	関	する法律、福	<b>国知山市廃棄物</b>	勿の	処理及び清	掃に関する条例									
	事業区分	Ø	法定受	₹託事務 □	玉	府補助事業	□ 市単独	事	業 口内:	部庶務的事業 □ ਰ	の他	(							)
	関連事業																		
	事業基礎!	青幸	 艮				•		•	_	•		•						
		「廃	棄物の	処理及び清掃	に	<b>夏する法律」</b>	及び、本市の一	一般	廃棄物処理	計画に基づき処理す	<sup>-</sup> る。								

### 事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割) 単位あたりコスト 対象者 市民(未水洗、工事・イベント等仮設) 対象者数 実施方法 ☑ 直接実施 ☑ 業務委託 □ 指定管理 □ 補助金交付 □ その他 委託先 実施主体等 市内し尿収集運搬業者、上下水道部 し尿収集運搬業務の委託及び業者と利用者間の連絡調整 し尿投入施設の維持経費負担 事業概要 (箇条書き) 支出に係る主な費目 支出実績(R3) 主な業務内容 報酬,職員手当等 684 臨時職員報酬6ヵ月 需用費 393 し尿くみ取り作業日程表、し尿くみ取り券、ガソリン代、事務消耗品 主な支出に係る 業務内容と経費 役務費,使用料及び賃借料 609 し尿くみ取り券売りさばき委託手数料、電話料、郵送料、複写機使用料 委託料 99,220 し尿収集運搬業務委託、し尿収集運搬予備車輌保管業務委託 負担金補助及び交付金 7,256 下水道し尿投入負担金

Ⅲ 予算執行状況

	Z	分		R2(評価前年)	度)	I	R3(評価年	度)		R4(本年)	<b>変</b> )	R5(要:	求年度)	
	1	当初予算			112,725			111,268			116,351			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	予算編点	心性 記入	
	小計	h(1)~(3)			112,725			111,268			116,351	(3次公	表明记入 表明)	•
予	1	一般財源			87,684			86,638			91,339			
算財	2	国支出金			0			0			0			
源	3	府支出金			0			0			0			
内訳		地方債			0			0			0			
76	<b>⑤</b>				25,041			24,630			25,012			
決	1				0			0						
算	2				112,725			111,268						
情報	3				108,226			108,163						
		執行率			96.0%			97.2%						
人概	1	正聯員 / 非常勒嘎託聯員)	0.85	/	0.00	0.80	/	0.00	0.80	/	0.00	0.00	/ C	0.00
工算	2	概算人件費			6,800			6,400			6,400			0
		アルコスト 「額+概算人件費)			115,026			114,563			6,400			0
		7. E44.51		し尿くみ取り	手数料			衛生手数料			14,28	<b>31</b>	14	
		:利用特財 年度実績値)	特財名称				種類			実績金額		決算付属資料		頁

|// 業績指煙

成里室籍	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
成果実績 (アウトカム) 実績/目標															
<b>美積/日標</b>					/			/			/		/		
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動車績	し尿収集量		kL	2041	/	2200	2060	/	2200	1911	/	2100	/	2100	
活動実績(アウトプット)		単位あたり	コスト		52.9			52.5			56.6				
実績/計画					/			/			/		/		
		単位あたり	コスト		•			•			•	•			

項	目	、争 条 担 当 所 禹 内 による目 亡き 評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
		・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業	衛生的な市民生活を維持するため、し尿くみ取り依頼者と収集運搬業者との連続できない。	1477 OXING
		か	絡調整を実施した。 仮設便所を含め下水道等に接続していない便所がある限り、し尿収集運搬は必 ************************************	
必要	性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	要である。	
		・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑高い
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	下水道、農業集落排水、合併浄化槽等の整備事業が終了しても、仮設便所を含め下水道等に接続されていない便所があるため引き続いて事業を継続する。	□ やや高い
効 率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
		・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	し尿くみ取り依頼者と収集運搬業者との連絡調整を実施し、衛生的な市民生活を維持した。	
有 効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	し尿収集量は減少しているが、仮設便所を含め下水道等に未接続の便所がある 現状では、衛生的な環境を維持するために欠くことはできない。	
		・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
		今後も安定して衛生的な環境を維持するた	めにし尿収集運搬業務を継続する必要がある。【定性的評価】	
	— 4			
定性的な	己評価			
及び現状	の詳趣			
		今後も、法及び処理計画に基づき、衛生的な	な市民生活を維持するため、継続して事業を実施する。	
改善	ケ			
以音	果			
VI = 2	次評価(	(事業所属外による他部署評価	<u>6)</u>	
事後評価	コメント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
VII 評ℓ	西をふま	えた次年度事業方針		
		方針区分	評価を踏まえた見直し内容	
担当制 事業の引				
テスの5 及び 予算要す	ķ		予算編成に記入 (3次公表時)	
r <del> A</del> SA	N/J #		(OV Tables)	
L VIII 予3	育反吐。	<b>社里</b>		
	<u> </u>	后 木 □ 現状維持 □ 廃止/休止	□ 予算拡充 □ 予算縮減	
予算反明	<b>尺結果</b>	□ 他事業を統合 (統合事業名:	) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:	)

-100	夫口山 事業属性	,	<b>२</b>	-, ,		7	40	7	ব	91	,—			•			(単位	: 千円)
	事業名	公衆便所管	理事業											-	事業コー	-ド 520118	3	
	政策体系	基本政策	2 市民一人	ひとりが、自然	、環境や	地域資	資源を守り	、生かし、	、次世代	せにつない	ハでいく	まち 政	策目標				続可能なま	ちづく
		施策名	2 廃棄物の	の適正処理と	循環型社	生会の	形成								施策コー	ード 222		
	事業担当			<b>卡民総務部</b>				1					「属長	四方 幸			1	
	会計情報	9,71	衛生費		01 保健1			L		境衛生	費	会	計 01	一般会詞		章付属資料	146	
	計画期間	開始年度	昭和28年月			↑和8年		連計画	名							R4現在の∜	犬況 継	続中
	<b>長拠法令等</b>			帚に関する法														
	事業区分	□ 法定受	託事務	□ 国府補助	事業	<u>⊿</u> ਜ	5単独事	<b>業</b> 口	内部思	務的事	· 業 🗆	その他	(					,
	関連事業																	
(施:	事業基礎事業目的策実現に向けてはが果たす役割		岡ノ二・内言	記六丁目及び	、野家) <i>σ</i>	清潔(	保持に努	め、市民	その他	也の利用	に供す	ることで	、市民の	の衛生環	境を保	全を図る。		
	対象者	全市民							対象	含者数		76,377		単位あ	たりコス	۲۲	0.0	
	実施方法	□ 直接実	施 🛭	業務委託	口指	定管理		補助金	交付		その他	i (						)
委託	先·実施主体等	公益社団法	人福知山市	<b>市シルバー人</b>	.材センタ	<b>ヹー</b> ほか	<u>ታ</u>											
	事業概要 箇条書き)	+111-17	フナル港口		( <b>本</b> (DO)							<b>→</b> + \ <del>**</del>	34 中央					
		東田に係	る主な費目	支出実行		光熱:	-レ弗					王な兼	務内容					
	トナルルタフ	委託料				清掃:												
	は支出に係る	X 11.71			302	/H 1m :	<b>X</b> 11											
Ш	予算執行	<b>状況</b>				,												
	区分		2(評価前年	度)		R	3(評価年	度)			R	4(本年)	隻)			R5(要:	求年度)	
(	① 当初予算			559	9				491					591				
	② 補正予算			(	)				0					0				
算情	③ 繰越予算			(	)				0					0				
報	前年度繰越			(	)				0	)				0				
	次年度繰越			(	כ				0	)				0		<b>文質</b> 短	战時記入	
	計(①~③)			559	Э				491					591			表時)	
, _	① 一般財源			559	_				491					591				
B+ -	② 国支出金				)				0					0				
源	③ 府支出金				)				0					0				
eo -	④ 地方債				)				0					0				
۷.	5 その他特財 1 流充用額				) )				0 45					0				
決 📙	2) 配当予算			559	-				536									
情(	3 執行額			54					535									
報⊢	<ul><li>4) 執行率</li></ul>			96.89	_				99.8%									
	① 従事職員数	0.08	/	0.00	_	.07	/	0.0			07	/	0.	00	0.0	00	/ 0	.00
C算	② 概算人件費			640	)				560					560				
	・タルコスト 独行額+概算人件費)			1,18	1			ı	1,095					560				
	な利用特財 1年度実績値)	特財名称					種類				実	経績金額			 決ĵ	算付属資料		頁
IV	業績指標							ı					<u> </u>				<u> </u>	
		抬	重標 標	単位		R1			R2			R3			R4		最終目	標
(	成果実績 アウトカム)	公衆トイレ数	数	箇所	3	/	3	3	/	3	3	/	3		/	3	3	
	<b>L綾/目標</b>				1	/			/			/			/			
		持	<b>標</b>	単位		R1			R2			R3			R4		最終目	標
	<b>汗動史</b> 律	稼動日数		日	366	/	366	365	/	365	365	/	365		/	365	365	
	活動実績 アウトプット)		単位は	あたりコスト		1.4			1.5			1.5						
	<b>に積/計画</b>					/						/			/			

単位あたりコスト

		評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要		・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	公衆便所の管理は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条第6項「市町村は、必要と認める場所に公衆便所及び公衆用ごみ容器を設け、これを衛生的に維持管理しなければならない。」に基づき必要性の高い事業である。	
		・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑ 高い
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	公衆トイレにおける定期的な清掃及び不具合のチェックを行うことで、衛生的な維持管理を図れる。 ・ 定期的に清掃の実施及び物品の補充を行う。	□ やや高い
効 率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
		・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	公衆トイレの清潔保持に努め、市民その他の利用に供することで、市民の衛生環境の保全を図れる。	
有 効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
		・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
			レて公衆トイレの利用に供することができた。 利用に供するため、継続して衛生的に維持管理を行う。	
定性的な				
含めた自己 及び現状の				
			川用に供するため、継続して衛生的に維持管理を行うとともに、利用者にも清潔に利	用していただくよう張
改善	策			
\// - \/-		(重要公园加上7小如罗莎万		
VI —X	一种一	(事業所属外による他部署評価		
事後評価コ	メント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
VII 評価 I	iをふま	えた次年度事業方針 方針区分	評価を踏まえた見直し内容	
担当課	n		N. D. C. P. C. P. C. P.	
事業の見 及び	直し		予算編成に記入	
予算要求	力對		( <b>3次公表時</b> )	
 VⅢ 予算	反映			
予算反映		□ 現状維持 □ 廃止/休止	□ 予算拡充 □ 予算縮減 ) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:	
		□ 他事業を統合 (統合事業名:	) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:	)

Ì	事業属性	,	?` 1 - '	•	`	•	•	•		,				•			(4-12	立:千円)
	事業名	環境衛生対	策事業											Ę	業コー	52013	0	
	政策体系	基本政策	? 市民一人ひ。	とりが、自然、	、環境や	地域資源	原を守り	、生かし	、次世代	につなし	ハでいく	くまち 政	策目標	2 地球環	環境に配	慮した持	続可能なま	まちづくり
	ACAR PETR	施策名	2 廃棄物の過	箇正処理と徘	<b></b>	と会の形	成							ħ	施策コー	۲ 222		
	事業担当	所属	)5050000 市月	民総務部 生	活環境	課						所	属長	四方 幸	生		_	
	会計情報	款 04	衛生費	項 0	1 保健衛	生費	目		03 環	境衛生	費	会	計 01	一般会計	決算	付属資料	146	頁
	計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年	F度 令	和8年原	<b>要</b> 関	連計画	名						F	4現在の	状況 継	<b>送続中</b>
	根拠法令等																	
	事業区分	□ 法定受	任事務 □	国府補助	事業	☑ 市員	单独事	業 口	内部庶	務的事	業	」その他	(					)
	関連事業																	
	事業基礎																	
(加 事	事業目的 施策実現に向けて 業が果たす役割)	状態を良好	て衛生消毒機 に保つ。 ☑除を行う市員							-						の防止に	:努め市民(	の衛生
	対象者	全市民							対象	者数		76,377		単位あれ	こりコスト	,	0.0	
	実施方法	☑ 直接実施	布 □ 業	務委託	口指定	定管理		補助金	交付		そのイ	也 (						)
委託	f.先·実施主体等																	
	事業概要 (箇条書き)	衛生消毒液 災害発生後	た衛生消毒機 の備蓄・更新 の衛生消毒 服の貸し出し	<b>業務</b>														
		支出に係	る主な費目	支出実績	(R3)							主な業	務内容					
		需用費			51	消耗品	費											
	な支出に係る																	
業	務内容と経費																	
	予算執行	状況																
	区分	R	(評価前年度			R3(	評価年	度)			F	R4(本年)	度)			R5(要	求年度)	
	① 当初予算			468					393					381				
筝	② 補正予算			0					0					0				
情	③ 繰越予算			0					0					0				
報	前年度繰越			0					0					0				
	次年度繰越			0					0					0	:	予算編	成時記入	
	小計(①~③)			468					393					381		(3次/	<b>公表時)</b>	
r	① 国主出会			468					393					381				
財	<ul><li>② 国支出金</li><li>③ 府支出金</li></ul>			0					0					0				
源内	<ul><li>例 及出並</li><li>④ 地方債</li></ul>			0					0					0				
訳	⑤ その他特財			0					0					0				
	① 流充用額			0					△ 45						_			
決算	② 配当予算			468					348									
情	③ 執行額			4					51									
報	<ul><li>④ 執行率</li></ul>			0.9%					14.7%									
人概	① 従事職員数	0.06	/	0.00	0.0	05	/	0.	00	0.	05	/	0.	00	0.00	)	/ (	0.00
	② 概算人件費			480					400					400				0
_	-タルコスト			484					451					400				0
	(執行額+概算人件費)			704		1			701					100				
	主な利用特財	6+ D.L 77 T.					<b>1</b>				_	± ^ ±				<b>从尼海</b> ···		
	-1年度実績値)	特財名称				_   1	種類				:	実績金額			決算	付属資料		頁
IV	業績指標		-													1		-
	成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3			R4		最終目	標
	(アウトカム) 実績/目標							ļ										
	大領/ 口味																	
		指		単位		R1			R2			R3			R4		最終目	標
	活動実績	蜂駆除防護	服貸出件数	件	106	/	0	25	/	0	37	/	0		/	0	0	
	(アウトプット) 実績/計画			たりコスト		8.0			0.1			1.4						
		沿丰宝体州																

単位あたりコスト

項 目	(事業担当所属内による目亡計 評価の観点		施策·施策成果指標
7 F	21.12 1.1741117		に対する貢献度
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	・火舌時の消毒作素について、甲関係合所の耒務内容についての再確認を打	
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	أ. أ	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑ 高い
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	災害に対する早期対応が図れる。 ・消毒液及び備品等の在庫確認を行う。	□ やや高い
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	一定数の備蓄を行うことで災害の早期対応に有効である。	
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
	・ 先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	災害に備え、衛生消毒剤の備蓄と消毒機器 蜂の駆除を行いたい市民の声に対応するこ	とができた。	
	蜂防護服が全体的に老朽化しているため、	使用者の安全確保のため、随時更新を図る。	
定性的な面も 含めた自己評価			
及び現状の課題			
	Lean-stand ISA II. Lean-to-True and I. True	tru v o ch o tru u o b tru Tru tru	
	蜂防護服が全体的に老朽化しているため、	<b>使用者の女主権保のため、更新する。</b>	
改善策			
7 1 4			
事後評価コメント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
争後計画コアンド		<b>学未計画矢応後に記載(対象学未のの</b> )	
_ VII 評価をふま	えた次年度事業方針		
	方針区分	評価を踏まえた見直し内容	
担当課の			
事業の見直し 及び		予算編成に記入	
予算要求方針		(3次公表時)	
VⅢ 予算反映:	 結果		
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□ 予算拡充 □ 予算縮減	
了异以吹和朱	□ 他事業を統合 (統合事業名:	) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:	)

١		事	業属性																
		事業	<b>美名</b>	清掃管理·	一般事業										事	業コード	540119		
	1	内笛	体系	基本政策	2 市民一人ひ	とりが、自然、	環境や	地域資源を守	守り、生かし	、次世代に	こつない	でいくまち	政策目	1標 2	地球環:	境に配慮	した持続す	丁能なま	さづく
		~~	TTVN	施策名	2 廃棄物の過	8正処理と循	<b>ī</b> 環型社	会の形成							施	策コード	222		
	3	事業	担当	所属	05050000 市月	民総務部 生	活環境	課					所属	長四	方 幸生	<u> </u>			
	5	会計	情報	款	04 衛生費	項	02 清掃	費	目	01 清掃	総務	ŧ	会計	01 -	-般会計	決算付	属資料	154	1
	į	計画	期間	開始年度	昭和50年度	終了予定年	度令	和12年度	関連計画	名 福知	山市-	般廃棄物	]処理基	本計画	1	R4	現在の状況	継	続中
	根	拠況	<b>长令等</b>																
	3	事業	区分	□ 法定受	₹託事務 □	国府補助事	業	☑ 市単独	事業 🗸	内部庶務	的事:	巣 □ そ	の他	(					)
	E	関連	事業																
Ш		事	業基礎	青報															
	拖舞	実現	目的 (に向けて たす役割)		理等の市民サ に要する予算								₿務を円	滑に近	≜めること	を目的	としている。	•	
		対象	大者	全市民						対象者	<b>首数</b>	76,	377	Ì	単位あた	りコスト		0.5	
	5	実施	方法	☑ 直接実	産施 口業	務委託	□ 指5	官管理	□ 補助金	· 交付		その他	(	1					)
委託	モ労	t·実	施主体等						<u> </u>										
			概要 書き)		に関する調査[ 清掃会議の年								管理、執	行)					
				支出に信	系る主な費目	支出実績	(R3)					主	な業務に	内容					
				需用費			845	印刷製本費	<sub>と、消耗品</sub>	費(PPC用	紙等)								
			出に係る	役務費			726	電信、電話	料•郵便代	t									
署	<b>医</b>	内容	学と経費	使用料及				デジタル複											
				負担金補助	助及び交付金		92	全国都市清	情掃会議年	会費等									
	_		算執行		.=														
	-	<u>x</u>	分		R2(評価前年度			R3(評値	<b>斯年度</b> )	0.405		R4(4	年度)		222		R5(要求年	F <b>度</b> )	
_	Ľ		初予算			2,814				3,125				3	,239				
予算	F	-	正予算			0				0					0				
情	(3	) 繰	越予算			0				0					0				
報			前年度繰越			0				0					0				
	Ļ	11.0	次年度繰越			0				0					0	予	算編成E	記入	
			D~3)			2,814				3,125					,239		(3次公表	時)	
予告	_		·般財源			2,814				2,218				- 2	,431				
算財	_		]支出金    支出金			0				0					0				
源内	$\vdash$		· <u></u>			0				0					0				
訳	$\vdash$		の他特財			0				907					808				
	+		充用額			223				△ 527					000				
決算	$\vdash$		当予算			3,037				2,598									
Ħ	F		<u>- コーチ</u> l行額			3,037				2,598									
報	_		いる。			100.0%				100.0%									
、概			事職員数	4.71	/	0.39	4.5	54 /		.00	4.5	4	/	0.00		0.00	/	n	0.00
			(/非常勒嘱託職員) [算人件費	.,,,		38,655		/		36,320					,320				
	Ū					-													
		タル	<b>レコスト</b> 概算人件費)			41,692				38,918					,320				

## V 業績指標

主な利用特財 (N-1年度実績値)

特財名称

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)					/			/			/		/		
実績/目標					/			/			/		/		
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動実績	文書処理件数		件	886	/	700	886	/	700	825	/	700	/	700	700以下
(アウトプット)		単位あたり	コスト		3.5			3.4			3.1				
実績/計画					/			/			/		/		
		単位あたり	コスト												

種類

決算付属資料

実績金額

項目		評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	・環境行政事務の円滑な実施のために必要な事業であり、市民サービスの充実 につながっている。事務を進める上で必要な事業である。	
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することの		
	・できない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、		□高い
	優先度の高い事業か ・受益者との負担関係や単位あたり	・コスト削減に努めることが必要であり、最低限の経費で済むよう事務の効率化	
	コストは妥当な水準か	などに心がけている。	☑ やや高い
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	・活動実績は文書処理件数としている。	
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
		という目標の達成状況を評価する適切な指標の設定が難しい。 目的で円滑な業務執行につながった(定性的評価)	
定性的な面も			
含めた自己評価 及び現状の課題			
	・無駄をなくすため、必要な事務処理と必要	な経費の見極めを行い、経費節減に努める。	
		5-12-5-5-5-1	
改善策			
以音束			
	 (事業所属外による他部署評価	f)	
41 — 9(t)   m	(4 X/)	· ,	
事後評価コメント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
			<u> </u>
V∥ 評価をふま 	えた次年度事業方針   方針区分	额压力吸力工业 目 度 1 小吃	
40 W === 0	刀獸位刀	<b>評価を踏まえた見直し内容</b> 	
担当課の 事業の見直し 及び		予算編成に記入	
予算要求方針		(3次公表時)	
VⅢ 予算反映:	<b>公里</b>		
	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□ 予算拡充 □ 予算縮減	
予算反映結果	□ 他事業を統合 (統合事業名:	) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:	)

	導	<b>F業属性</b>													
	事	業名	福知山市一般廃棄物処	理基本計画:	策定事	Ě						事	手業コード 5	40140	
	70+4	6体系	基本政策 2 市民一人ひ	とりが、自然	、環境や	地域資源を	守り、生か	し、次世代	につなし	いでいくまち	政策目標	2 地球環	環境に配慮し	た持続可	能なまちづ
	以另	スキャス	施策名 2 廃棄物の過	適正処理と循	<b>5環型社</b>	会の形成						挤	を 第コード 2	22	
	事業	<b>美担当</b>	所属 05050000 市	民総務部 生	E活環境	課					所属長	四方 幸	生		
	会計	†情報	款 04 衛生費	項	02 清排	費	目	01 清排	帚総務	費	会計 0	1 一般会計	決算付属	属資料	154
	計画	期間	開始年度 令和2年度	終了予定年	F度 令	和12年度	関連計	画名 福知	山山市一	-般廃棄物	処理基本記	計画	R4現	在の状況	継続中
	根拠	法令等	廃棄物の処理及び清掃	こ関する法律	<b>‡</b>										
	事業	<b>美区分</b>	□ 法定受託事務 □	□国府補助ः	事業	☑ 市単独	事業 [	□ 内部庶	務的事	業 口 その	の他 (				
	関連	事業													
П	事	<b>事業基礎</b>	情報												
	策実	<b>桟目的</b> 現に向けて tたす役割)	廃棄物の処理及び清掃   の形成を図る。 	こ関する法律	書第6条	に基つきー	·般廃棄羽	<b>观</b> 埋基本	計画を	策定し、進	<b>捗を管埋</b> る	<b>「</b> ることでこ	こみの定期	性処埋及で	<b>少循</b> 境型剂
	対	象者	全市民					対象	者数	76,	377	単位あた	-りコスト	(	0.0
	実施	扩法	☑ 直接実施 ☑ 業	務委託	口指	定管理	□ 補助	金交付		その他	(				
Ħ	先·	<b>実施主体等</b>	株式会社タカギ印刷												
託先・実施主体 <sup>3</sup> 事業概要 (箇条書き) 主な支出に係る 業務内容と経費		福知山市一般廃棄物処: -一般廃棄物処理基本計 -令和3年度計画実施状 -廃棄物減量(資源化)に	画 印刷製 況の報告(2	本 公表)	を管理する。	•									
			支出に係る主な費目	支出実績	(R3)					主	な業務内容	<b>\$</b>			
			需用費		338	印刷製本	費								
Ш	•	算執行													
	区	分	R2(評価前年月			R3(評f	<b>西年度</b> )			R4(本	年度)		R	5(要求年	度)
	1	当初予算		4,385				1,200				0			
	2 1	補正予算		0				0				0			
	3 1	操越予算		0				0				0			
		前年度繰越		0				0				0			
		次年度繰越		0				0				0	予1	<b>拿編成時</b>	記入
_		①~③)		4,385				1,200				0	(;	3次公表	诗)
		一般財源		4,385				1,200				0			
•	<u> </u>			0				0				0			
	-			0				0				0			
	_			0				0				0			
	_			△ 223				△ 862							
				4,162				338							
								· ·							
	2 1			3,818				338							
	2 1	执行額		3,818 91.7%				338 100.0%							
	2 I 3 \$	執行額 執行率	0.41 /		0.	23	/		0.0	00	/ 0	0.00	0.00	/	0.00
	2 P 3 \$ 4 \$ 1 6	执行額 执行率 注事職員数	0.41 /	91.7%	0.	23	/	100.0%	0.0	00 ,	/ 0	0.00	0.00	/	0.00
<ul> <li>一方面内</li> <li>② 国府</li> <li>型 府</li> <li>地 そ</li> <li>流 配 執 執 事職 所</li> <li>② 取 力 行 行職 板</li> <li>② 取 中</li> <li>で 取 り</li> <li>で 取 り<td>執行額 執行率 注事職員数 (員/非常助嘱託職員) 既算人件費</td><td>0.41 /</td><td>91.7%</td><td>0.</td><td>23</td><td>/</td><td>100.0% 0.00</td><td>0.0</td><td>00 ,</td><td>/ 0</td><td></td><td>0.00</td><td>/</td><td>0.00</td></li></ul>	執行額 執行率 注事職員数 (員/非常助嘱託職員) 既算人件費	0.41 /	91.7%	0.	23	/	100.0% 0.00	0.0	00 ,	/ 0		0.00	/	0.00	

V 業績指標

主な利用特財 (N-1年度実績値)

特財名称

成果実績	指	標	単位	R1		R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	計画策定進捗	率	%		100	/	100	100	/	100	/	0	100
実績/目標						/			/		/		
	指	標	単位	R1		R2			R3		R4		最終目標
活動実績	審議会開催				3	/	3	0	/	0	/	0	3
(アウトプット)		単位あたり	コスト			1272.7							
実績/計画	印刷製本		回		0	/	0	1	/	1	/	0	1
		単位あたり	コスト						338.0				

実績金額

種類

決算付属資料

_ V 一次評	P価(事業担当所属内による	自己評価)	
項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必要性	・市民や社会のニーズを的確に扱か ・民間事業者や市民が自ら実施すできない事業か ・目的・目標の達成手段として適ち	の策定及び進捗管理事業であり、令和3年度から令和12年度を計画期間とする「福知山市一般廃棄物処理基本計画(ごみ処理基本計画2021)」の印刷製本を行ることの「行った。 ・「福知山市一般廃棄物処理基本計画(ごみ処理基本計画2021)」に示す年度ごとの目標が達成されるよう、生活環境課の各施策の調整を行った。	☑ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたコストは妥当な水準か・他の手段や方法とのコスト比較け十分行われているか・コスト削減や効率化に向けた工施されているか	民間業者に委託することにより、適正かつ効率的な遂行を図った。 ・本事業担当者が生活環境課の各施策の担当者と調整を行うことで、「福知山市 一般廃棄物処理基本計画(ごみ処理基本計画2021)」で示した施策にスムーズに 着手することができた。	<ul><li>□ やや高い</li><li>□ やや低い</li><li>□ 低い</li></ul>
有 効 性	・成果目標は理にかない、実績は 把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源のデ 十分行われたか	物減量目標等に係る実績については、令和3年度末に評価し、報告(公表)を行った。	
定性的な面も 含めた自己評 及び現状の課	見込み。 ・計画に定めた廃棄物減量目標等 ・本事業において、廃棄物減量(資 価	:和3年度に計画の印刷製本を完了したため、令和7年度(中間年)の見直しに係る業務までは 等に係る実績については、毎年度末に評価するとともに、令和7年度(中間年)に見直しを実施 資源化)に係る施策調整を実施し、福知山市一般廃棄物処理基本計画の進捗を管理する。	
改善策	施策に活用する。	計画(ごみ処理基本計画2021)」に定めた計画が達成されるよう、毎年度末に実施する実績説	『価を生活環境課の
VI 二次割	P価(事業所属外による他部	署評価)	
事後評価コメン	<b>/</b> F	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
VII 評価を	ふまえた次年度事業方針		
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方金	#	評価を踏まえた見直し内容 予算編成に記入 (3次公表時)	
VⅢ 予算反	<b>、</b> 映結果		

□ 予算拡充

□ 予算縮減

) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

□ 廃止/休止

(統合事業名:

□ 現状維持

□ 他事業を統合

予算反映結果

(単位:千円)

| 事業属性 事業名 不法投棄防止パトロール事業 事業コード 540108 基本政策 2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち 政策目標 2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり 政策体系 施策コード 222 施 策 名 2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成 事業担当 所属 05050000 市民総務部 生活環境課 所属長 四方 幸生 会計 01 一般会計 決算付属資料 会計情報 04 衛生費 項 02 清掃費 目 02 じん芥処理費 頁 開始年度 平成22年度 終了予定年度 令和12年度 関連計画名 福知山市一般廃棄物処理基本計画 計画期間 R4現在の状況 継続中 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 根拠法令等 事業区分 □ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 □ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 □ その他 関連事業

### || 事業基礎情報

尹未卒啶	月科							
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	市街地外周部や山間部で 不法投棄の防止には、早 民生活の安心安全を図る	期発見·早期対策				行うことにより、不法投	?棄防止対策の充	実と市
対象者	全市民			対象者数	76,377	単位あたりコスト	0.1	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務	務委託 □ 指第	定管理 🗆 補助金	交付 🗆	その他(			)
委託先•実施主体等	(公社) 福知山市シルバー	人材センター、(社	福) しあわせネットワー	ク				
事業概要 (箇条書き)	不法投棄が多い重点監視 法投棄者の特定につなが					左、回収した不法投棄	物の内容を調査し	し、不
	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容	3		
	需用費	176	不法投棄防止看板購	入、不法投棄隊	方止柵修繕			
主な支出に係る	委託料	3,997	不法投棄防止パトロー	-ル委託				
業務内容と経費								

### Ⅲ 予算執行状況

	Σ	<u>z</u>	分	F	R2(評価前	年度)		R3(評価年	度)		R4(本年)	隻)	R5(要:	求年度)	
	1	当	初予算			4,03	7		4,049			4,330			
予	2	補	i正予算				0		0			0			
算情	3	緑	越予算				0		0			0			
報			前年度繰越				0		0			0			
			次年度繰越				0		0			0	予算編月		
	小言	†(1	) <b>~</b> ③)			4,03	57		4,049			4,330		表時)	
予	1	· —	般財源			2,01	9		2,025			2,165			
算財	2	国	支出金				0		0			0			
源	3		支出金			2,01			2,024			2,165			
内訳	-		方債				0		0			0			
76	5		の他特財				0		0			0			
決	1		充用額			33			124						
算	2		当予算			4,37			4,173						
情報	3		.行額			4,36			4,173						
			.行率			99.8			100.0%						
人概	1	(正職員	事職員数	0.03	/	0.04	0.17	/	0.00	0.17	/	0.00	0.00	/ (	0.00
			算人件費			34	.0		1,360			1,360			0
			レコスト 概算人件費)			4,70	9		5,533			1,360			0
	<b>→</b> +	·>±111	m ++ m+		不法投棄防止/	パトロール事業(きょう	と地域連携交付金)		衛生費府補助	金		1,82	24	28	
			用特財 隻実績値)	特財名称				種類			実績金額		決算付属資料		頁

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	回収量		t	6	/	0	5	/	0	5	/	0	/	0	0
実績/目標					/			/			/		/		
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動実績	パトロール回数		回	218	/	218	218	/	218	218	/	218	/	218	218
(アウトプット)		単位あたり	コスト		18.4			20.0			19.1				
実績/計画					/			/			/		/		
		単位あたり	コスト												

V 一次評価	(事業担当所属内による自己評	'価)	
項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	・自治会等による地域美化活動では、回収しきれない、ポイ捨てを含めた不法投棄の防止を図る。	
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か		
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑ 高い
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	・経験をもった民間業者に委託することにより、効率的な運営を図っている。 ・年間200回以上のパトロール等の実施。	□ やや高い
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	・成果目標、活動目標は最終的に不法投棄が無くなることを目標としている。 ・警察と連携し、パトロール及び現地周辺調査を行いながら、注意喚起看板の設置。	
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
		:棄ごみを回収することで不法投棄行為を抑制し、生活環境の保全に努めることが、 現状は、回収と再発の繰り返しであり、効果的な対策をしつつ、生活環境の保全の	
定性的な面も			
含めた自己評価 及び現状の課題			
	・警察や京都府と連携を取り、繰り返し不法・自治会とも連携して監視体制の強化。	投棄がある地域のパトロール活動を強化し、不法投棄防止用立看板を設置し啓発:	を図る。
改善策			
\/  - 冷誕価	 (事業所属外による他部署評価		
VI 二次时间	(事業が個外による他的名前他		
事後評価コメント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
///	まえた次年度事業方針		<u>,                                     </u>
VII 計画をいる	大人に八十段事業リョ	評価を踏まえた見直し内容	
担当課の			
事業の見直し及び		予算編成に記入	
予算要求方針		(3次公表時)	
└────────────────────────────────────	<del></del>		
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□ 予算拡充 □ 予算縮減	
. N. wawadasia	□ 他事業を統合 (統合事業名:	) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:	)

# 证上1六人工人生在重改重告证从:\_\_

(単位:千円)

猫	头山山	中令和4	斗及	事務事	系評価	ンー	1	
	事業属性	•	,		,			
	<b>車</b> 堂名	資源ごみ 集団 同収 報 奨 事 業					事	

事業名	資源ごみ	集団回収報奨事	業								事業=	コード 540	113		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひと	りカ	、自然、環境	竟や地域資源を	守り、	生かし、次	世代につないでいくまち	政策目	標 2 地球	球環境(	こ配慮した	∠持続可	能なまちつ	うくり
以来许尔	施策名	2 廃棄物の適	正	処理と循環	型社会の形成						施策=	コード 222	!		
事業担当	所属	05050000 市民	<b>総</b>	務部 生活 <sup>3</sup>	環境課				所属:	長 四方	幸生	•			
会計情報	款 C	4 衛生費	項	02	清掃費	目	02	じん芥処理費	会計	01 一般会	計	央算付属資	料	154	頁
計画期間	開始年度	平成3年度	終	了予定年度	令和12年度	関	連計画名	福知山市一般廃棄物	処理基:	本計画		R4現在	の状況	継続中	7
根拠法令等	福知山市	資源ごみ集団回	収[	団体報奨金	支給要綱										
事業区分	□ 法定受	託事務 ☑	国府	<b>守補助事業</b>	□ 市単独	事第	美 口 内部	部庶務的事業 口 その	の他	(					)
関連事業															

尹未卒啶	月科							
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	各種市民団体の自主的な PTA、子ども会、老人会な し、環境問題の大切さを認	どの団体による回	収活動を通じて、子ど	もから高齢者ま				
対象者	全市民			対象者数	76,377	単位あたりコスト	0.1	
実施方法	☑ 直接実施 □ 業系	務委託 □ 指5	定管理 🗆 補助金	交付 🗆	その他 (		)	
委託先•実施主体等	登録団体							
事業概要 (箇条書き)	営利を目的としない団体(I kgあたり3円(廃食用油の							
	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容	1		
	報償費	3,570	資源ごみ集団回収団	体報奨金				
主な支出に係る								
業務内容と経費								

## Ⅲ 予算執行状況

	Σ	分		R2(評価前年	度)		R3(評価年	度)		R4(本年月	度)	R5(要3	<b>求年度</b> )	
	1	当初予算			4,928			4,780			4,094			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	予算編月		
	小計	h((1)~(3))			4,928			4,780			4,094	(3次公		
予	1	一般財源			2,464			2,390			2,047			
算財	2	国支出金			0			0			0			
源	3	府支出金			2,464			2,390			2,047			
内訳	_	地方債			0			0			0			
76	<b>⑤</b>				0			0			0			
決算	1				0			0						
算	2				4,928			4,780						
情報	3				4,094			3,570						
		執行率			83.1%			74.7%						
人概	1)	従事職員数 <sup>正職員 / 非常動嘱託職員)</sup>	0.16	/	0.00	0.18	/	0.00	0.18	/	0.00	0.00	<u> </u>	0.00
		概算人件費			1,280			1,440			1,440			0
		アルコスト 可額+概算人件費)			5,374			5,010			1,440			0
		T-1 ED 44 D-1		資源ごみ集団回収	報奨事業(きょうと地域	<b>支連携交付金</b> )		衛生費府補助	金		1,59	3	28	
		:利用特財 年度実績値)	特財名称				種類			実績金額		決算付属資料		頁

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	リサイクル率		%	16.2	/	25.3	14.7	/	26	14.6	/	16	/	24.4	28.9
実績/目標	一人あたりのこ	ぶ排出量	g/人日	529.9	/	474.0	538.7	/	459.6	534.3	/	527.2	/	524.6	503.5
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動実績	資源ごみ集団	回収量	t	1756	/	2843	1072	/	2882	1190	/	1713	/	1696	1606
(アウトプット)		単位あたり	コスト		3.0			3.0			3.0				
実績/計画					/			/			/		/		
		単位あたり	コスト												

<u>v</u>	~/\	AT IM	事業担当所属内による自己言	(	
項	١	I	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標   に対する貢献度
必	要	性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することの	体の再資源化に大きな割合を占めている。  ・毎年継続して資源回収団体の登録依頼を行っている。	
	_	_	できない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑ 高い
			・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	資源回収により処理されることで、本市の処理コスト削減が図られる。 ・毎年継続して資源回収団体の登録依頼を行っている。	□ やや高い
効	率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
			・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□低い
			・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	ごみ処理量の減少やリサイクル上昇率により把握されている。	
有	効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
			・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか	より、環境パークのごみの持ち込み量を減らすことに貢献している。	
定性的 含めた 及び現	:自己	評価	めるための啓発等を検討しなければならな	必要であるが、新型コロナウイルスの影響もあり、集団回収の取り組みが下火となっ い。 め、報奨金単価等の最適なバランスについて検討する。	ており、活動意欲を
改	_			や自治会、各種団体等に呼びかけるなど啓発を強化する。	
VI =	二次	評価(	事業所属外による他部署評価	西)	
事後評	福コ	メント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
VII ≥	平価	iをふま	えた次年度事業方針		
¥ IIV	平価	iをふま	えた次年度事業方針 方針区分	評価を踏まえた見直し内容	
担当	当課(の見) 及び	か <b>直</b> し		評価を踏まえた見直し内容 予算編成に記入 (3次公表時)	
担 事業( 2 予算	当課(の見) 及び 要求ご	か <b>直</b> し	方針区分	予算編成に記入	

(単位・壬四)

事業属性	,	•	•	, , ,	-	•	•							(+ <u>L</u> .	1 1 2/
事業名	第1期·第	2期処分場埋立	:整備事業								事業:	コード 5	40123		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひと	りが、自然、環境	竟や地域資源を <del>'</del>	守り	リ、生かし、次	世代につない	いでいくまち	政策目	標 2 地	球環境(	に配慮し	<b>した持続可</b>	能なまち	づくり
以泉冲木	施策名	2 廃棄物の適	正処理と循環	型社会の形成							施策	コード 2	222		
事業担当	所属	05050000 市民	総務部 生活理	環境課					所属县	四方	幸生				
会計情報	款 C	04 衛生費	項 02	清掃費	目	02	じん芥処理	費	会計	01 一般:	会計	夬算付属	属資料	156	頁
計画期間	開始年度														
根拠法令等	廃棄物の	<b>E物の処理及び清掃に関する法律</b>													
事業区分	□ 法定受	法定受託事務 ☑ 国府補助事業 □ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 □ その他 ( )													)
関連事業															
事業基礎	情報														
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	逼迫状態の	の不燃物埋立処	1分場において.	. 第1期∙第2期.	エリ	Jアの埋め立	て量の拡力	大を図り、環	境パーク	7全体の₹	延命化る	を図る。			
対象者	全市民					3	付象者数	76,3	377	単位	あたり=	コスト		2.6	
実施方法	☑ 直接実	€施 □ 業務	务委託 □	指定管理		補助金交付	t 🗆	その他	(						)
委託先•実施主体等						•	•	•		•		•	•	•	

事業概要 (箇条書き)

- ・第1期・第2期埋立処分場嵩上工事を進めている。 埋立面積4,500㎡、埋立容量21万㎡拡大 ・令和3年度は土堰堤築造による嵩上整備実施。

支出に係る主な費目 支出実績(R3) 主な業務内容 工事請負費 197,540 第1期 第2期埋立処分場整備工事、第2期埋立処分場飛灰置場改修工事 主な支出に係る 業務内容と経費

Ⅲ 予算執行状況

	区	分	R2(評価前年度)				R3(評価年	度)		R4(本年月	隻)	R5(要:	求年度)	
	1	当初予算			10,000			174,000			70,000			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	又 管 垣 :	戊時記入	
	小計	·(①~③)			10,000			174,000			70,000		表時)	•
予	1	一般財源			2,500			18,934			0			
算財源	_	国支出金			0			44,666			23,333			
源	_	府支出金			0			0			0			
内		地方債		7,500				110,400			42,000			
訳	_	その他特財		0				0			4,667			
決		流充用額			159			23,540						
決算		配当予算			10,159			197,540						
情報	3	執行額			10,113			197,540						
TIA.		執行率			99.5%			100.0%						
人概		従事職員数 E職員/非常動嘱託職員)	0.13	/	0.00	0.24	/	0.00	0.24	/	0.00	0.00	/ (	0.00
工算	2	概算人件費			1,040			1,920			1,920			0
		アルコスト f額+概算人件費)			11,153			199,460			1,920			0
		T// CD 4+ D.1		循環型社会形成推進交付金				衛生費国庫補	助金		44,66	66	18	
		利用特財 年度実績値)	特財名称	· 一般廃棄物処理債(補助分)			種類	衛生債		実績金額	80,40	00 決算付属資料	50	頁
				名称 一般廃棄物処理債(補助分 一般廃棄物処理債(単独分				衛生債			36,40	00	50	

IV 業績指標

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	埋立増量		m³	0	/	0	-	/	-	4万	/	8万	/	8万	21万
実績/目標					/			/			/		/		
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動実績	単年当たり事業	業進捗率	%	0	/	0	100	/	100	100	/	100	/	100	100
(アウトプット)		単位あたり	コスト					0113.0			1975.4				
実績/計画					/			/			/		/		
		単位あたり	コスト												

<u> </u>	·次評価	i(事業担当所属内による自己)	評価)	1
項	目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
		・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	*・一般廃棄物の処理は市の責務であり、最終処分場の容量確保の必要性は高い。	
必要	要 性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	・容量の確保を図るため、嵩上げ整備及び飛灰置場の整備を行った。	
		・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑ 高い
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	・新たな処分地の確保に比べ、現処分場の嵩上を行うことでコスト削減を図った。	□ やや高い
効 3	率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
		・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	・成果目標、活動目標については各年度の予定工事を実施し、段階的に埋立容量の拡大を図った。	
有交	物 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
		・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
			·備に合わせて、第2期埋立処分場と飛灰置場の土堰堤の築造を行い埋立処分場の ≥め、最適な整備事業の進捗管理が必要となる。	容量確保を図った。
	が面も 自己評価 犬の課題			
改争	善策		に余裕がある間に、第1期・第2期の埋立が再開できるよう、事業進捗を促進する。 搬入規制や第4期埋立処分場整備計画を進めていく。	
VI =	次評価	(事業所属外による他部署評値	<b>逝</b> )	
事後評価	面コメント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
VII 評	価をふ	 まえた次年度事業方針		
担当 事業の 及	課の	方針区分	評価を踏まえた見直し内容 予算編成に記入 (3次公表時)	22222
VIII 平	算反映			
<u> </u>	映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□ 予算拡充 □ 予算縮減	
广开以	、水和木	□ 他事業を統合 (統合事業名:	) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:	)

(単位:千円)

ı	于木两江															
	事業名	3R(ス!	<u></u>	アール)推進事	業								事業コー	-ド 540131		
	政策体系	基本政	策	2 市民一人ひと	とりた	、自然、環境	竟や地域資源を <sup>:</sup>	守り.	生かし、次	世代につないでいくまち	政策目	標 2 地球	球環境に	記慮した持糸	売可能なまち	づくり
,	以来严尔	施策														
2	事業担当	所属		05050000 市民	・総	幸生	•									
5	会計情報	款	0	4 衛生費	項	02	清掃費	目	02	じん芥処理費	会計	01 一般会	会計 決算	草付属資料	156	頁
1	計画期間	開始年	度	平成15年度	終	了予定年度	令和12年度	関	連計画名	福知山市一般廃棄物	処理基2	計画		R4現在の状	況 継続	中
根	拠法令等	廃棄物	のタ	処理及び清掃に	関	する法律										
1	事業区分	□ 法定	2受	:託事務 ☑	国	存補助事業	☑ 市単独	事業	美 口内i	部庶務的事業 口 その	の他	(				)
	望連事業															

### || 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	家具等の修理再生品の別源として再生利用する)に						
対象者	全市民			対象者数	76,377	単位あたりコスト	0.1
実施方法	□ 直接実施 ☑ 業績	務委託 □ 指2	定管理 🗆 補助金	交付 口	その他(		)
委託先•実施主体等	公益社団法人福知山市シ	vルバー人材センタ	一、エコ美遊				
事業概要 (箇条書き)	1 環境パークに持ち込ま ①展示販売品 ②修理 2 環境パークに持ち込ま ス細工や布リフォームなと	再生家具の販売 れた再生利用可能	3衣類などの無償譲渡 な廃棄物を活用し、リ	ξ サイクルプラザ	・2階の体験コーナー		〔学習後、実際にガラ
	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内	容	
	需用費	7	光熱水費、資材				
主な支出に係る	役務費	5	保険料				
業務内容と経費	委託料	2,015	体験教室・リユースシ	ョップ運営委託	、家具修理再生委託	ŧ	
				•	·		

## Ⅲ 予算執行状況

	Z	分	R2(評価前年度)				R3(評価年	度)		R4(本年月	変)	R5(要:	<b>求年度</b> )	
	1	当初予算			4,114			2,567			2,562			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	予算編品	#: c± == 7	
	小計	·(①~③)			4,114			2,567			2,562		以时配入 入表時)	•
予	1	一般財源			2,449			907			957			
算	_	国支出金			0			0			0			
財源	_	府支出金			1,262			1,308			1,281			
内	_	地方債		0				0			0			
訳	+	その他特財		403				352			324			
決	-	流充用額			0			0						
決算	_	配当予算			4,114			2,567						
情報	_	執行額			3,031			2,027						
		執行率			73.7%			79.0%						
人概		従事職員数 E職員/非常動嘱託職員)	0.14	/	0.30	0.65	/	0.00	0.65	/	0.00	0.00	/ (	0.00
工算	2	概算人件費			1,870			5,200			5,200			0
		ルコスト f額+概算人件費)			4,901			7,227			5,200			0
		T.( D) 4+ D.(		3R推進事業(きょうと地域連携				衛生費府補助	金		88	36	28	
		:利用特財 年度実績値)	特財名称	財名称 リユースショップ			種類	物品売払収入		実績金額		4 決算付属資料	34	頁
				称 リユースショップ 体験教室参加者材料費				雑入			(	)1	46	

### IV 業績指標

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	リサイクル率		%	16.2	/	25.3	14.7	/	26	14.6	/	16	/	24.4	25
実績/目標	一人あたりのこ	ごみ排出量	g/人日	529.9	/	474.0	538.7	/	459.6	534.3	/	527.2	/	524.6	503.5
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動実績	家具等の販売	数	点	320	/	320	293	/	320	277	/	320	/	320	320
(アウトプット)		単位あたり	コスト		7.9			10.3			7.3				
実績/計画	体験教室参加	者数	人	472	/	660	423	/	660	301	/	660	/	660	660
		単位あたり	コスト		5.4			7.2			6.7				

項	目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必要	医性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か・目的・目標の達成手段として適切で、	・体験教室や家具販売には毎回多くの申込みがあり、ニーズはある。 リサイクル啓発が目的であり、営利目的の事業者が実施するには適さない事業である。 家具等の修理再生品の販売及びリサイクル体験教室を通じて、3R(スリーアールのリデュース(ご みを減らず)・リユース(くり返し使う)・リサイクル(資源として再生利用する)に対する市民の意識向 上を図り、多くの市民が3Rに取り組むことで、循環型社会形成の意識が向上した社会を実現する うえでも欠かせない事業である。 ・家具等の修理再生品の販売の実施。 ・リサイクル体験教室及び施設見学については、新型コロナウイルス感染拡大を受け、事業縮小	
		優先度の高い事業か	・	☑ 高い
		・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	5.	□ やや高い
効 琫	☑ 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
		・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	・ごみ処理量の減少やリサイクル率上昇が重要であり、明確に把握できる指標である。 ・成果目標については「未来創造福知山」及び一般廃棄物処理基本計画に基づ	
有效	<b>始性</b>	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	を設定した。(R4以降は「まちづくり構想 福知山」の成果指標及び一般廃棄物処理基本計画に基づき設定)	
		・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
			。 検教室は、市内では数少ないリサイクル啓発の場となっている。 レ体験教室の開催や修理再生家具販売等により、3Rの契機となるよう啓発等の取	 組み及び体験教室
含めた自 及び現状				
		これまでからすべての市民が3Rに取り組ま	れているが、すべてのごみがリサイクルできるわけではなく、多くのごみを焼却処分	・や埋め立て処分を
改善	<b>策</b>	行っている現状をふまえ、まず、2Rを「排出	れているが、すべてのごみがリサイクルできるわけではなく、多くのごみを焼却処分 印制 リュース」と「再使用 リサイクル」を促すために、リユースショップの運営、修理再生家 とによりごみの減量化と再資源化と正しいごみの分別に対する意識を高めるため分	<b>マ具の販売や体験</b>
		行っている現状をふまえ、まず、2Rを「排出す 室、環境パークの施設見学等の開催するこ	印制 リュース」と「再使用 リサイケル」を促すために、リユースショップの運営、修理再生家 とによりごみの減量化と再資源化と正しいごみの分別に対する意識を高めるため分	₹具の販売や体験教
	次評価	行っている現状をふまえ、まず、2Rを「排出 室、環境パークの施設見学等の開催するこの 分別パンフレット」の見直しを進める	印制 リュース」と「再使用 リサイケル」を促すために、リユースショップの運営、修理再生家 とによりごみの減量化と再資源化と正しいごみの分別に対する意識を高めるため分	具の販売や体験
<u>VI =</u>	次評価	行っている現状をふまえ、まず、2Rを「排出 室、環境パークの施設見学等の開催するこの 分別パンフレット」の見直しを進める	印制 リュース」と「再使用 リサイケル」を促すために、「リユースショップの運営、修理再生家とによりごみの減量化と再資源化と正しいごみの分別に対する意識を高めるため分	具の販売や体験
VI 二 事後評価	次評価ロメント	行っている現状をふまえ、まず、2Rを「排出 室、環境パークの施設見学等の開催するこの 分別パンフレット」の見直しを進める	印制 リュース」と「再使用 リサイケル」を促すために、「リユースショップの運営、修理再生家とによりごみの減量化と再資源化と正しいごみの分別に対する意識を高めるため分	₹具の販売や体験教
VI 二 事後評価	次評価ロメント	行っている現状をふまえ、まず、2Rを「排出技 室、環境パークの施設見学等の開催するこの 分別パンフレット」の見直しを進める	印制 リュース」と「再使用 リサイケル」を促すために、「リユースショップの運営、修理再生家とによりごみの減量化と再資源化と正しいごみの分別に対する意識を高めるため分	₹具の販売や体験教
VI 二 事後評価	次評価 ロメント 価をふる 関東直し び	行っている現状をふまえ、まず、2Rを「排出技 室、環境パークの施設見学等の開催するこの 分別パンフレット」の見直しを進める (事業所属外による他部署評価 まえた次年度事業方針	印制リュース」と「再使用リサイケル」を促すために、リュースショップの運営、修理再生家とによりごみの減量化と再資源化と正しいごみの分別に対する意識を高めるため分類というでは、「サイヤットのでは、「サイヤット」を促すために、「サイヤット」では、「サイヤット」を促すために、「サイヤット」では、「サイヤット」を促すために、「サイヤット」では、「サイヤット」を促すために、「サイヤット」では、「サイヤット」を促すために、「サイヤット」では、「サイヤット」を促すために、「サイヤット」というでは、サイヤットをは、サイヤットをは、サイヤットをは、サイヤットをは、サイヤットをは、サイヤットをは、サインをは、サインをは、サインをは、サインをは、サインをは、サインをは、サインをは、サインをは、サインをは、サインをは、サインをは、サインをは、サインをは、サインのでは、サインをは、サインには、サインには、サインをは、サインをは、サインをは、サインをは、サインをは、サインをは、サインには、サインをは、サインのでは、サインをは、サインのでは、サインをは、サインのでは、サインをはられるでは、サインをはられるのは、サインをは、サインをは、サインをはられるのでは、サインをは、サインをはられるのは、サインをはられるのは、サインをはられるのは、サインをはられるでは、サインをはられるのは、サインをはられるのは、サインをはられるのは、サインをはられるのは、サインをはられるのは、サインをはられるのは、サインをはられるのは、サインをはられるのは、サインをはられるのは、サインをはられるのは、サインをはられるのは、サインを	具の販売や体験
二   平   単   第   1   1   1   1   1   1   1   1   1	次評価 ロメント 価をふる 関東直し び	行っている現状をふまえ、まず、2Rを「排出する」、環境パークの施設見学等の開催するこの分別パンフレット」の見直しを進める  (事業所属外による他部署評価  まえた次年度事業方針  方針区分	印制リュース」と「再使用リサイケル」を促すために、リュースショップの運営、修理再生家とによりごみの減量化と再資源化と正しいごみの分別に対する意識を高めるため分 事業評価実施後に記載(対象事業のみ)  評価を踏まえた見直し内容  予算編成に記入	₹具の販売や体験教

(単位:千円)

| 事業属性 事業名 ごみ焼却施設修繕事業 事業コード 540138 基本政策 2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち 政策目標 2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり 政策体系 施 策 名 2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成 施策コード 222 事業担当 所属 05050000 市民総務部 生活環境課 所属長 四方 幸生 会計 01 一般会計 決算付属資料 会計情報 04 衛生費 項 02 清掃費 目 02 じん芥処理費 156 頁 開始年度 平成12年度 終了予定年度 令和12年度 関連計画名 福知山市一般廃棄物処理基本計画 計画期間 R4現在の状況 継続中 根拠法令等 廃棄物の処理及び清掃に関する法律、容器リサイクル法、ダイオキシン特別措置法 事業区分 ☑ 法定受託事務 □ 国府補助事業 □ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 □ その他 関連事業

### || 事業基礎情報

事未本候	月刊													
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	・平成12年度から稼動した、施設の延命化を図り履			<b>设備を計画的に</b>	改修、整備することで	、法令及び公害防止協党	官の遵守するととも							
対象者	全市民			対象者数	76,377	単位あたりコスト	1.6							
実施方法	☑ 直接実施 □ 業系	務委託 □ 指第	定管理 口 補助金	∵交付 □	その他(		)							
委託先•実施主体等	三菱重工環境・化学エンジ	ジニアリング(株)関i	西支店、東洋ホイスト(ホ	株)大阪支店、(柞	株)ニチゾウテック福知	山事業所								
事業概要 (箇条書き)	E菱重工環境・化学エンジニアリング(株)関西支店、東洋ホイスト(株)大阪支店、(株)ニチゾウテック福知山事業所 福知山市内からの燃やすごみを、法令及び公害防止協定を遵守し、適正かつ安全に焼却処理を行った。 市民サービスの充実を図るため、ごみ焼却施設の設備の改修工事を行った。													
	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容	!								
	需用費	11,757	消耗品費、修繕料											
主な支出に係る	工事請負費	104,303	ごみ焼却施設機械・電	氢設備改修工	事									
業務内容と経費														

### Ⅲ 予算執行状況

	į	X .	分	F	R2(評価前年	年度)		R3(評価年	度)		R4(本年月	隻)	R5(要3	<b>求年度</b> )	
	1	)当	i初予算			85,390			136,253			195,783			
予	2	補	正予算			0			△ 7,700			0			
算情	3	)繰	越予算			0			0			0			
報			前年度繰越			0			0			0			
			次年度繰越			0			0			0	予算編月	to≠=== 1	
	小言	#(1	D~(3)			85,390			128,553			195,783	(3次公		•
予	1	) —	·般財源			21,990			35,661			2,783			
算	$\vdash$		支出金			0			0			0			
財源	_		支出金			0			0			0			
内	_		2方債			63,400			92,892			183,300			
訳	+-		の他特財			0			0			9,700			
決	1		充用額			△ 5,157			△ 11,197						
決算	_		当予算			80,233			117,356						
情報	_		け額			73,337			116,060						
			行率			91.4%			98.9%						
人概			事職員数	0.52	/	0.00	0.52	/	0.00	0.52	/	0.00	0.00	/ (	0.00
工算	2	)概	[算人件費			4,160			4,160			4,160			0
			<b>レコスト</b> ・概算人件費)			77,497			120,220			4,160			0
		4- T.I.I	m4+n4		一般廃棄物処理債(単独)				衛生債			78,20	0	50	
(N	王7	な利力 1年月	用特財 隻実績値)	特財名称	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			種類	衛生手数料		実績金額	14,50	0 決算付属資料	14	頁
					市庁内ごみ手数料				衛生手数料			7,80	0	14	

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	公害防止協定、	協定値の遵守		協定値以下	/	協定値以下	協定値以下	/	協定値以下	協定値以下	/	協定値以下	/	協定値以下	協定値以下
実績/目標					/			/			/		/		
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動実績	ごみ焼却量		t	17586	/	14204	17780	/	17577	17700	/	17325	/	15832	12644
(アウトプット)		単位あたり	コスト		5.4			4.1			6.6				
実績/計画					/			/			/		/		
		単位あたり	コスト									•			

٧ -	次部	平価(	事業担当所属内による自己語	評価)	
項	目		評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
			・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	<ul><li>→ 遵守と地元自治会との公害防止協定の遵守することにより市民生活の安全安心 を確保した。</li></ul>	
必引	要性	-	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か		
			・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か	・法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計	☑ 高い
			・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	画的な改修を行うことで施設の延命化をすることにより可能なコスト縮減、効率化を図った。	□ やや高い
勃 3	率 性	•	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
			・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか	**************************************	□低い
			・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	・成果目標については「まちづくり構想福知山」基本政策及び一般廃棄物処理基本計画で設定している目標である。 ・改修計画において適切な優先順位を設定し、設備の延命化を図った。	
有3	効 性	<b>.</b>	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	・改修を行う上で有効な技術等を常に研究した。	
			・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
			・ごみの焼却処理に発生する有害物質の	役の延命化を図り、市内で発生するリサイクルごみの安定かつ適正な分別処理が行れ 発生を抑制、除去を行ない法令及び公害防止協定に定められている基準値を下回る 5コストが増大するため、改修計画の見直し等が必要となっている。	
定性的 含めた  及び現 <sup>*</sup>	自己評	価			
			・廃棄物を安定かつ適正に処理を行うとと	もに、さらに効率化と経費の削減を図る。 ・改修費用の平準化を行う改修計画を策定し事業を行う。	
改〔	善策	Ī	W P エ ナ A J 参 B X MB V D A J J NR I L C B X L C V	、以後食用の「千元と日子以後用目と米だらず木と日子。	
VI =	-次部	平価(	事業所属外による他部署評値	<b>洒</b> )	
事後評	面コメン	ント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
VII 評	価を	ふま	えた次年度事業方針		
事業の	び	_	方針区分	評価を踏まえた見直し内容 予算編成に記入 (3次公表時)	
1,000	Apèr -	1 .	L BR		
VⅢ 予	算月	₹映線	告 果 □ 現状維持 □ 廃止/休止	□ 予算拡充 □ 予算縮減	
予算反	映結	果	□	<ul><li>□ ア昇払允</li><li>□ 上 ア昇 稲 瀬</li><li>□ 他事業へ統合</li><li>□ (統合先事業名:</li></ul>	)

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート | 事業属性

(単位:千円)

事業名	水処理施設	设運転・維持管	理事業							事業コー	-ド 540142		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひと	とりが、自然、環境	竟や地域資源を	守り、	生かし、次	世代につないでいくまち	政策目標	2 地球	環境に	配慮した持糸	売可能なる	まちづくり
以来评示	施策名	名 2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成 施策コード 222											
事業担当	所属	05050000 市民	R総務部 生活	環境課				所属長	四方	幸生	•		
会計情報	款 C	4 衛生費	項 02	清掃費	目	02	じん芥処理費	会計 (	1 一般会	計 決算	草付属資料	156	頁
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和12年度	関	連計画名	福知山市一般廃棄物	処理基本	計画		R4現在の状	:況 #	<b><sup>送</sup>続中</b>
根拠法令等	廃棄物の	処理及び清掃に	関する法律										
事業区分	□ 法定受	:託事務 🗆	国府補助事業	☑ 市単独	事第	美 口内部	部庶務的事業 口 その	D他					)
関連事業													

### || 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	いる。その施設で処理され 遵守しなければならない。	福知山市環境パーク及び三和町・夜久野町・大江町の最終処分場から流れ込む浸出水を適正に処理するための水処理施設をそれぞれ設置して ゝる。その施設で処理された浸出水は、放流水として河川放流をするが、その放流水質は、法令の排出基準及び環境保全協定に定められた基準を 違守しなければならない。そのため、水処理施設の機械・電気設備を計画的な整備修繕を行うとともに、水処理施設の適正かつ安定した稼動と適切 ょ施設管理を図ることを目的とする。									
対象者	全市民			対象者数	76,377	単位あたりコスト	0.5				
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務	務委託 □ 指別	定管理 口 補助金	交付 🗆	その他(		)				
委託先•実施主体等	(社)福知山市シルバー人	.材センター、(株)	アクアテック 他								
事業概要 (箇条書き)	・不燃物埋立処分場から技な稼動の維持管理を行った	「燃物埋立処分場から排出される汚水(浸出水)を、公共水域基準及び公害防止協定値以下まで処理するため浸出水処理施設の安定かつ確実 稼動の維持管理を行った。									
	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容						
	需用費	17,140	施設薬品代、施設消耗	毛品購入、光熱	·水費、施設修繕費						
主な支出に係る	役務費	277	通信費、法定点検手数	<b>数料</b>							
業務内容と経費	委託料	21,483	施設運転維持管理業	務							

### \_ Ⅲ 予算執行状況

	١	区	分		R2(評価前年	年度)		R3(評価年	度)		R4(本年月	隻)	R5(要3	<b>∤年度</b> )	
	(1	D #	首初予算			35,646			86,233			41,163			
予	2	2) 補	正予算			0			△ 46,000			0			
算情	3	3) 約	<sub>操</sub> 越予算			0			0			0			
報			前年度繰越			0			0			0			
			次年度繰越			0			0			0	予算編月	#: 0±=== 7.	
	小	計((	1)~(3)			35,646			40,233			41,163	3次公		•
予	(1	D -	-般財源			9,334			0			0			
算財	2	2) [	支出金			0			0			0			
源	$\vdash$		支出金			0			0			0			
内	_		也方債			0			0			4,700			
訳	+		の他特財			26,312			40,233			36,463			
決	F		充用額			△ 63			0						
算	$\vdash$		2当予算			35,583			40,233						
情報	_		九行額			32,443			38,900						
TIA			九行率			91.2%			96.7%						
人概		(正職)	事職員数	0.32	/	0.00	0.24	/	0.00	0.24	/	0.00	0.00	/ (	0.00
工算	2	2) 根	<b>荒算人件費</b>			2,560			1,920			1,920			0
			<b>レコスト</b> +概算人件費)			35,003			40,820			1,920			0
		4. T.I	m4+04		下水道(灰	・しさ)処理手数	料		衛生手数料			17,87	1	14	
			用特財 度実績値)	特財名称	市庁内ごみ	<b>,手数料</b>		種類	衛生手数料		実績金額	8,07	1 決算付属資料	14	頁
					市庁外ごみ	<b>ナ手数料</b>			衛生手数料			2,27	4	14	

### IV 業績指標

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	公害防止協定、	協定値の遵守		協定値以下	/	協定値以下	協定値以下	/	協定值以下	協定値以下	/	協定値以下	/	協定値以下	協定値以下
実績/目標					/			/			/		/		
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動実績	放流水量		t	80926	/	120450	51682	/	120450	44853	/	120450	/	120450	120450
(アウトプット)		単位あたり	コスト		0.5			0.6			0.9				
実績/計画		·			/			/	•		/		/		_
		単位あたり	コスト												

□現状維持

□ 他事業を統合

予算反映結果

□ 廃止/休止

(統合事業名:

٧ -	<u>ー</u> カ	く評価(	(事業担当所属内による自己)	評価)	
項		目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必	要	性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、	処理を行うことで、法令の遵守と地元自治会との公害防止協定の遵守することに より市民生活の安全安心を確保した。	☑ 高い
勃	率	性	優先度の高い事業か ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な整備を行うことで施設の延命化をすることにより可能なコスト縮減、効率化を図った。	<ul><li>□ やや高い</li><li>□ やや低い</li><li>□ 低い</li></ul>
有	効	性	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか	・成果目標についての、遵守すべき法令及び公害防止協定について協定値をクリアした。 ・活動実績は水処理施設の処理能力に対しての放流水量としているが、下回っている。 ・施設の整備・維持管理における有効な技術等を常に研究した。	
定性 含めた 及び3		評価		とめ水処理施設の適正管理は必要である。 上協定の排水基準を守るうえで有効である。 防止協定基準を順守できた。 売きが必要となっている。	
改	善	策		守するため水処理施設の適正管理を行なう必要がある。 場において、法に基づく監視を行うための準備をする。	
VI J	二次	と評価(	  事業所属外による他部署評	西)	
事後評	平価二	メント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
VII 🛊	評価	をふま	えた次年度事業方針		
担事業	当課の見び要求	の 直し	方針区分	評価を踏まえた見直し内容 予算編成に記入 (3次公表時)	
VIII	予算	反映	· 結果		
	• /	/ 4/			

□ 予算拡充

□ 予算縮減

) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:

(単位:千円)

事業属性	,	(単位:十円)											
事業名	第4期埋3	5処分場整備事	業							事業=	コード 540148		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひ	とりが、自然、	環境や地域資源を	守り	、生かし、次	世代につないでいくまち	政策目	標 2 地	球環境(	こ配慮した持約	売可能なまち	っづくり
以来评求	施策名	2 廃棄物の過	8正処理と循	環型社会の形成						施策=	コード 222		
事業担当	所属	05050000 市月	民総務部 生	舌環境課				所属	長 四方	幸生	•		
会計情報	款	04 衛生費	項	2 清掃費	目	02	じん芥処理費	会計	01 一般:	会計 決	<b></b> 等付属資料	156	頁
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年	度 令和11年度	具	]連計画名	一般廃棄物処理基本計画、福知	田山市循環	型社会形成推	進地域計画	R4現在の状	:況 継続	中
根拠法令等	廃棄物の	処理及び清掃に	-関する法律										
事業区分	口 法定员	€託事務 🗸	国府補助事	業 口 市単独	事	業 口内語	部庶務的事業 口 そ	の他	(				)
関連事業													
事業基礎	情報					·							
		☑処分場が約10	年後には全	(埋立が完了する	5た8	め、第1期・第	<b>第2期埋立処分場隣接</b>	に第4期	埋立処分	場の整備	備を行い埋立	容量を確保	きす

事未坐從	IR TIL						
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	・既設埋立処分場が約10: る。	年後には全て埋立	が完了するため、第1月	閕∙第2期埋立処	₾分場隣接に第4期埋立	区処分場の整備を行	うい埋立容量を確保す である。
対象者	全市民			対象者数	76,377	単位あたりコスト	1.3
実施方法	□ 直接実施 ☑ 業系	務委託 □ 指足	定管理 🗆 補助金	交付 口	その他(		)
委託先·実施主体等	キタイ設計㈱京都支社、(	株)エイト日本技術	開発福知山営業所				
事業概要 (箇条書き)	・第1期・第2期埋立処分場	場隣接地に、第4期は	里立処分場の整備を行	うための詳細	設計を実施した。		
	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容		
	委託料	96,903	電子計算機保守管理	業務、測量設調	十•施工管理業務等		
主な支出に係る							
業務内容と経費							

## \_ ||| 予算執行状況

	١	区	分		R2(評価前	[年度]		R3(評価年	度)		R4(本年月	<b>変</b> )	R5(要求年度)		
	(1	D #	首初予算			61,817			40,385			14,705			
予	2	2) 補	非正予算			0			0			0			
算情	3	3) 約	操越予算			△ 61,432			61,432			0			
報			前年度繰越			0			61,432			0			
			次年度繰越			△ 61,432			0			0	予算編品	少性 17	
	小	計((	1)~(3)			385			101,817			14,705		表時)	•
予	1	D -	-般財源			385			51,004			385			
算財			支出金			0			26,813			0			
源	$\vdash$		<b>持支出金</b>			0			0			0			
内	_		也方債			0			24,000			10,000			
訳	+		の他特財			0			0			4,320			
決	F		充用額			14			1,051						
算	$\vdash$		2当予算			399			102,868						
情報	_		执行額			399			96,903						
			<b>执行率</b>			100.0%			94.2%						
人概	Ľ		事職員数	0.28	/	0.00	0.29	/	0.00	0.29	/	0.00	0.00	/ (	0.00
工算	2	2) 根	既算人件費			2,240			2,320			2,320			0
			<b>レコスト</b> +概算人件費)			2,639			99,223			2,320			0
		<u></u>	m4+04		循環型社	会形成推進交付	金		衛生費国庫補	助金		13,33	33	18	
			用特財 度実績値)	特財名称	循環型社	会形成推進交付金	金(繰越分)	種類	衛生費国庫補	助金	実績金額	13,48	0 決算付属資料	18	頁
					一般廃棄	物処理債(補助)	)		衛生債			24,00	00	50	

成果実績	指	標	単位	R1		R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	埋立量確保		m³	/	0	/	0	0	/	0	/	0	20万㎡
実績/目標				/		/			/		/		
	指	標	単位	R1		R2			R3		R4		最終目標
活動実績	単年当たり事業	業進捗率	%	/	100	/	100	100	/	100	/	100	100
(アウトプット)		単位あたり	コスト			399.0			969.0				
実績/計画				/		/			/		/		
		単位あたり	コスト										

項		評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
		・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	・一般廃棄物の処理は市の責務であり、最終処分場の確保の必要性は高く、整備に向けて詳細設計を行った。	
必要	性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か		
		・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑ 高い
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	・当該処分場用地は確保されており、有効に利用することで新たな処分場用地の確保に係るコスト削減を図る詳細設計とした。	□ やや高い
効 率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
		・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	・成果目標、活動目標については各年度の予定事業を実施し、段階的に埋立処 分場の整備を行い、埋立量の確保を図ることとした。	
有 効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
		・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
			設計を行い、整備内容の立案及び概算費用の算出をした。     大学的では、できないでは、   10   10   10   10   10   10   10   10	
定性的なご	面‡.	・成改连立処力場の技术里が笹川尤丁より	コー選旦(人が)になる。	
含めた自己及び現状の	,評価			
		・追加用地を取得するため測量を行い用地 ・第1期・第2期埋立処分場の嵩上整備を実	買収を行う。 施し、埋立処分場の残余量を確保しながら事業を進める。	
改善	策			
VI 二次	:評価(	事業所属外による他部署評価	<b></b>	
	メント		事業評価害施後に記載(対象事業のみ)	
事後評価⊐	メント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
	メント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
事後評価⊐		えた次年度事業方針	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
事後評価⊐		えた次年度事業方針 方針区分	事業評価実施後に記載(対象事業のみ) 評価を踏まえた見直し内容	

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針		予算編成に記入 (3次公表時)

## VⅢ 予算反映結果

予算反映結果	□ 現状維持	□ 廃止/休止	□ 予算拡充		□ 予算縮減		
了异及吹船米	□ 他事業を統合	(統合事業名:		)	□ 他事業へ統合	(統合先事業名:	)

# 福知山市 今和4年度事務事業評価シート | 事業属性

(単位:千円)

1 7 7 7 7 7 7													
事業名	環境パーク	フ運転・維持管理	里事業							事業コード	540154		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひと	とりが、自然、環境	竟や地域資源を	守り、	. 生かし、次 <sup>・</sup>	世代につないでいくまち	政策目標	2 地球	環境に配慮	<b>慮した持続</b>	可能なまちて	づくり
以泉冲水	施策名	2 廃棄物の通	適正処理と循環	型社会の形成						施策コード	222		
事業担当	所属	05050000 市民	総務部 生活	環境課				所属長	四方 幸	≛生	-		
会計情報	款 C	4 衛生費	項 02	清掃費	目	じん芥処理費	会計 0	1 一般会	計 決算付	t属資料	156	頁	
計画期間	開始年度	平成15年度	終了予定年度	令和12年度	関	連計画名	福知山市一般廃棄物	処理基本詞	計画	R4	現在の状況	紀 継続口	Þ
根拠法令等	廃棄物の	処理及び清掃に	関する法律										
事業区分	□ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 □ その他 (												)
関連事業	ごみ焼却加	<b>拖設修繕事業、</b>	廃棄物処理施	设等運転管理	委託	事業、水処	<u>理施設運転·維持管理</u>	里事業、リサ	−イクルプ	ラザ修繕	<u>事業</u>		

### || 東岩は林峰和

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	・市民の生活から日常的 のため、環境パークの施言					、排出されるごみを	適切に処理できない。こ						
対象者	全市民			対象者数	76,377	単位あたりコスト	3.3						
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務	務委託 □ 指足	定管理 🗆 補助金	交付 □	その他 (		)						
委託先•実施主体等	(株)福知山クリーンセンタ	一、福知山環境事	業協同組合 他										
事業概要 (箇条書き)	市環境パーク」として約21 ・ごみ処理は、市民生活に	平成12年度より燃やすごみを処理するために、現在のごみ焼却施設の稼動を初め、またリサイクルブラザは平成15年度より稼動を始め、「福知山 5環境パーク」として約21年が経過している。 ごみ処理は、市民生活に密着したライフラインの一部であり、法に則した燃やすごみの完全な処理が、市民の快適な衛生生活を提供することとない。住民サービスの充実を図るため、機器の運転・維持管理必要な施設の整備を行った。											
	支出に係る主な費目	支出実績(R3)											
	文田に示る工な其口	文山夫根(R3)			主な業務内容								
	報酬ほか		臨時職員報酬ほか		主な業務内容								
主な支出に係る		1,484		<b>毛品費、ごみ焼却</b>			8繕、法定点検手数料ほか						
主な支出に係る 業務内容と経費	報酬ほか	1,484 119,557			施設灯油代他燃料費、環		多繕、法定点検手数料ほか						
	報酬ほか 需用費ほか	1,484 119,557 99,544	ごみ焼却施設薬品他消耗	管理業務委託(	施設灯油代他燃料費、環		多繕、法定点検手数料ほか						

## ■ 予算執行状況

	区	分	F	R2(評価前4	年度)		R3(評価年	度)		R4(本年月	隻)	R5(要求年度)		
	1	当初予算			215,606			237,173			260,922			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	又曾信	* n± == 7	
	小計	(1)~(3)			215,606			237,173			260,922	予算編月 (3次公		•
予	1	一般財源			58,349			0			0			
算財源	2	国支出金			0			0			0			
源	3	府支出金			2,035			2,035			2,178			
内	_	地方債			0			5,700			42,700			
訳	-	その他特財			155,222			229,438			216,044			
決	1	流充用額			4,757			△ 8,936						
決算	2	配当予算			220,363			228,237						
情報	3	執行額			218,106			227,435						
TIA		執行率			99.0%			99.6%						
人概		従事職員数 E職員/非常動嘱託職員)	1.98	/	2.90	3.17	/	0.00	3.17	/	0.00	0.00	/ (	0.00
工算	2	概算人件費			23,090			25,360			25,360			0
		スルコスト 可額+概算人件費)			241,196			252,795			25,360			0
		T.I. 0714+014		ごみ焼却施設(きょうと地域選	周辺地域大気環境訓 連携交付金)	間査業務		衛生費府補助	金		2,03	3	28	
		:利用特財 年度実績値)	特財名称	一般廃棄物	<b></b>		種類	衛生手数料		実績金額	61,56	9 決算付属資料	14	頁
(				産業廃棄物	<b>为手数料</b>			衛生手数料			134,93	5	14	

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	公害防止協定、	協定値の遵守		協定値以下	/	協定値以下	協定値以下	/	協定値以下	協定値以下	/	協定値以下	/	協定値以下	協定値以下
実績/目標					/			/			/		/		
	指標		単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動実績	廃棄物処理量(焼却	、リサイクルプラザ)	t	24689	/	24620	23750	/	24584	22682	/	24242	/	23973	完全処理
(アウトプット)		単位あたり	コスト		8.6			9.2			10.0				
実績/計画					/			/			/		/		
		単位あたり	コスト												

V 1	と評価(	事業担当所属内による自己評	(価)	
項	目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必要		・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	・市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であるため、焼却処理等適切な処理を行うことで、法令の遵守と地元自治会との公害防止協定の遵守することにより市民生活の安全安心を確保した。	
		・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か		☑ 高い
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	・法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計 画的な整備を行うことで施設の延命化をすることにより可能なコスト縮減、効率化 を図った。	□ やや高い
効 率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	CE 2720	□ やや低い
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
		・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	・成果目標については、遵守すべき法令及び公害防止協定をクリアした。 ・活動実績はごみ処理量としているが、計画量を下回った。 ・有効な技術等を常に研究し、運転管理に係る技術力の向上を図った。	
有 効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
		・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
定性的な 含めた自己 及び現状 <i>0</i>	2評価	・適正な運転・維持管理により、ごみ処理の を下回る測定結果を得た。	より、市内で発生する燃やすごみの安定かつ適正な廃棄物処理が行えた。 過程で発生する有害物質の発生を抑制、除去を行い、法令及び公害防止協定に定 転に係る経費の増加が見込まれるため、最適な運転管理手法の検討が必要。	められている基準値
改善	策	・廃業物処理を安定かつ適正に処理を行なる	うとともに、運転管理に係る手法を研究し、さらに効率化と経費の削減を図る。	
VI ニカ	と評価(	<ul><li>事業所属外による他部署評価</li></ul>	i)	
事後評価=	ュメント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
VII 評価	あをふま	えた次年度事業方針		
担当課 事業の見 及び 予算要求	.直し	方針区分	評価を踏まえた見直し内容 予算編成に記入 (3次公表時)	
VIII 予算	反映網	· 結果		
予算反映	結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止 □ 他事業を統合 (統合事業名:	□ 予算拡充 □ 予算縮減 ) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:	

(単位:千円)

| 事業属性 事業名 リサイクルプラザ修繕事業 事業コード 540155 基本政策 2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち 政策目標 2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり 政策体系 施 策 名 2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成 施策コード 222 事業担当 所属 05050000 市民総務部 生活環境課 所属長 四方 幸生 会計 01 一般会計 決算付属資料 会計情報 04 衛生費 項 02 清掃費 目 02 じん芥処理費 頁 開始年度 平成15年度 終了予定年度 令和12年度 関連計画名 福知山市一般廃棄物処理基本計画 計画期間 R4現在の状況 継続中 根拠法令等 廃棄物の処理及び清掃に関する法律、容器リサイクル法 事業区分 □ 法定受託事務 □ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 □ その他 関連事業

### || 事業基礎情報

	IN IPC						
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	・市民の生活から日常的に 画的に整備することで、リ			上で、経年劣化	に伴う性能低下が著し	いリサイクルプラサ	の各機械設備部品を計
対象者	全市民			対象者数	76,377	単位あたりコスト	1.1
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業系	務委託 □ 指第	定管理 🗆 補助金	交付 🗆	その他(		)
委託先·実施主体等	(株)ファノバ福知山営業所	、鎌長製衡(株)大	阪支店、福知山環境事	業協同組合、	荒河電気設備管理事務	务所	
事業概要 (箇条書き)	<ul><li>・容器包装プラスチック他</li><li>・法に則した資源ごみの完</li><li>・住民サービスの充実を図</li></ul>	全な処理は、市民	の快適な衛生生活を持	是供することと	なる。		
	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容		
	需用費	9,089	消耗品費、リサイクル	プラザ機械、電	氢殼備修繕		
主な支出に係る	委託料	893	ペットボトル減容機等	保守点検業務	、埋立処分場不燃ごみ	破砕業務	
業務内容と経費	工事請負費	73,902	リサイクルプラザ棟機	械設備改修工	事		

### Ⅲ 予算執行状況

	į	X	分	F	R2(評価前年	<b>拝度</b> )		R3(評価年	度)		R4(本年月	度)	R5(要:	<b>求年度</b> )	
	1	) 当	初予算			46,077			95,947			138,662			
予	2	補.	正予算			0			0			0			
算情	3	) 繰;	越予算			0			0			0			
報			前年度繰越			0			0			0			
			次年度繰越			0			0			0	予算編月	# c== 1	
	小言	<b>†</b> (①	) <b>~</b> ③)			46,077			95,947			138,662	3次公		•
予	1	) <b>—</b> į	般財源			14,277			32,247			7,262			
算	2	) 国	支出金			0			0			0			
財源	_		支出金			0			0			0			
内	_	) 地:				31,800			63,700			124,800			
訳	+		の他特財			0			0			6,600			
決	1		充用額			0			△ 11,340						
決算	$\vdash$		当予算			46,077			84,607						
情報	_	執				33,344			83,884						
		執				72.4%			99.1%						
人概			事職員数 /非常動嘱託職員)	0.32	/	0.00	0.46	/	0.00	0.46	/	0.00	0.00	/ (	0.00
工算	2	)概:	算人件費			2,560			3,680			3,680			0
			ノコスト 概算人件費)			35,904			87,564			3,680			0
		4- T.I.D	D4+D1		一般廃棄物	加理債(単独)			衛生債			55,30	0	50	
(N	王7	な利用 1年度	用特財 (実績値)	特財名称	下水道(灰	しさ)処理手数料	1	種類	衛生手数料		実績金額	5,50	0 決算付属資料	14	頁
					市庁内ごみ	手数料			衛生手数料			5,00	0	14	

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	搬入廃棄物の	分別処理		完全処理	/	完全処理	完全処理	/	完全処理	完全処理	/	完全処理	/	0	完全処理
実績/目標					/			/			/		/		
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動実績	リサイクルプラ	ザ処理量	t	3854	/	3467	4105	/	3848	3992	/	3802	/	3764	完全処理
(アウトプット)		単位あたり	コスト		9.4			8.1			21.0				
実績/計画					/			/			/		/		
		単位あたり	コスト		•	•			•						

	WCBI IM	(事業担当所属内による自己部	, Im /	•
項	目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必要	更 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	・市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であり、搬入廃棄物の分別処理を行い、廃棄物の再資源化を行うため、施設の適正な改修及び維持管理を行った。	
		・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑ 高い
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	・法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な改修を行うことで施設の延命化をすることにより可能なコスト縮減、効率化を図った。	□ やや高い
効 3	怪 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
		・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	・成果目標については、遵守すべき法令及び公害防止協定をクリアし、搬入廃棄物の完全処理を行った。 ・活動実績はリサイクルプラザ処理量としているが、計画量を上回った。	
有效	<b>为性</b>	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	・維持管理に有効な技術等を常に研究をした。	
		・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか	カズ& サナフリサノクリ デス の中ウム の 第二 か 八回 加 理 4 / ニュナ	
		・施設の計画的な修繕を行うことにより、同じ・施設の老朽化が進行する中、効率的に改	内で発生するリサイクルごみの安定かつ適正な分別処理が行えた。 修工事を行い長寿命化を図る必要がある。	
定性的 含めた自 及び現む	己評価			
改會	<b>集策</b>	・廃棄物を安定かつ適正に処理を行うととも ・改修工事対象設備の優先順位を設定し、	に、さらに効率化と経費の削減を図る。 改修費用の平準化を行うために策定した改修計画を基に事業を行う。	
VI =	次評価	(事業所属外による他部署評価	<b>6</b> )	
事後評値	<b>ボコメント</b>		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
VII 評	価をふま	えた次年度事業方針		
·		方針区分	評価を踏まえた見直し内容	
事業の 及	課の 見直し び 求方針		予算編成に記入 (3次公表時)	
VⅢ 予	算反映	結果		

# 福知山市 今和4年度事務事業評価シート | 事業属性

□ 指定管理

(単位:千円)

. 4 /14.1.4 1-													
事業名	指定ごみ袋	9作製事業							Trail I	事業コード	540165		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひと	とりが、自然、環	竟や地域資源を	守り	、生かし、次	世代につないでいくまち	政策目	標 2 地球班	環境に配慮	した持続	可能なまちつ	づくり
以泉净术	施策名	2 廃棄物の適	正処理と循環	型社会の形成					ħ	も策コード	222		
事業担当	所属	05050000 市民	民総務部 生活	環境課				所属县	医四方 幸	生	-		
会計情報	款 0	4 衛生費	項 02	清掃費	目	02	じん芥処理費	会計	01 一般会言	<b>決算付</b>	属資料	156•158	頁
計画期間	開始年度	平成13年度	終了予定年度	令和12年度	異	連計画名	福知山市一般廃棄物	処理基準	画信	R4	現在の状況	兄 継続「	<del>+</del>
根拠法令等	廃棄物の処	L理及び清掃に	関する法律										
事業区分	□ 法定受	託事務 🗆	国府補助事業	☑ 市単独	事	業 口内部	部庶務的事業 □ その	つ他	(				)
関連事業													
事業基礎	情報												
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)		04 衛生費 項 02 清掃費 目 02 じん芥処理費 会計 01 一般会計 決算付属資料 156・158 頁 2 年度 平成13年度 終了予定年度 令和12年度 関連計画名 福知山市一般廃棄物処理基本計画 R4現在の状況 継続中物の処理及び清掃に関する法律 は定受託事務 □ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 □ その他 ( ) ) 3 日本の後の導入(家庭系一般廃棄物の有料化)により、費用負担を軽減しようとするインセンティブが生まれ、ごみの排出量の抑制やリサイクに進が期待できる。ごみの減量により、焼却施設や埋立処分場の負荷を減少させることで、延命化を図ることが可能となり、財政負担の軽減に											

委託先·実施主体等 丸硝株式会社(R3)、販売:福大商事ほか8社 家庭ごみの排出抑制と再資源化の推進、排出量に応じた負担の公平化及び住民の意識改革のため、有料指定ごみ袋による分別収集を実施し、また、指定ごみ袋を身近な店舗等で購入できるよう、卸売・小売業者に販売を委託し、交付実績に応じて手数料を支払う。 事業概要 (箇条書き)

□ 補助金交付

主な支出に係る 業務内容と経費

対象者

実施方法

全市民

☑ 直接実施

□ 業務委託

支出に係る主な費目 支出実績(R3) 主な業務内容 26,713 指定ごみ袋作製 需用費 役務費 24,896 処理手数料

対象者数

76,037

□ その他

単位あたりコスト

0.7

|| 予算執行状況

		<u> </u>	/\/\u												
	区	分	F	R2(評価前年)	度)		R3(評価年	度)		R4(本年)	変)	R5(要:	求年度)		
	1	当初予算			42,274			42,420			61,715				
予	2	補正予算			0			0			0				
算情	3	繰越予算			0			0			0				
報		前年度繰越			0			0			0				
		次年度繰越			0			0			0	又曾纪	龙時記入		
,	小計	·(①~③)			42,274			42,420			61,715		表時)		
予	1	一般財源			0			180			0				
算財源	_	国支出金			0			0			0	<u> </u>			
源	3	府支出金	0					0			0				
内	_	地方債	0								0				
訳	⑤	その他特財			42,274	42,240					61,715				
決	_	流充用額			0			9,189							
決算	2	配当予算			42,274			51,609							
情報	3	執行額			39,796			51,609							
TIX		執行率			94.1%			100.0%							
人概	(I	従事職員数 E職員/非常動嘱託職員)	0.23	/	0.22	0.23	/	0.00	0.23	/	0.00	0.00	/ 0.	.00	
工算	2	概算人件費			2,390			1,840			1,840			0	
		リルコスト 額+概算人件費)	42,186					53,449			1,840			0	
	<u> </u>	±1 CD 4+ D.1		指定ごみ袋処理手数料				衛生手数料			51,54	6	14		
		利用特財 年度実績値)	特財名称	指定ごみ袋店	<b>达告収入</b>		種類	雑入		実績金額	6	3 決算付属資料	44	頁	

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	一人あたりのこ	ごみ排出量	g/人日	536.5	/	474.0	538.7	/	459.6	534.3	/	527.2	/	524.6	503.5
実績/目標					/			/			/		/		
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動実績	ごみ収集量(可	燃・不燃・プラ)	t	11879	/	10783	12056	/	10487	12031	/	11695	/	11611	10487
(アウトプット)		単位あたり	コスト		3.7			3.3			4.3				
実績/計画		•			/			/			/		/		
		単位あたり	コスト												

<u> </u>	WE I IM	(事業担当所属内による自己	n	
項	目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
		・市民や社会のニーズを的確に捉えた事か	* ・有料指定ごみ袋により、費用負担を軽減しようとするインセンティブが生まれ、ごみの排出量の抑制やリサイクルの促進につながる。	
必要	更 性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か		
		・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑ 高い
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	・指名競争入札により、技能と経験を持った民間業者による価格競争が行われ、 コスト削減と効率的な作製、ごみ袋の品質維持に努めた。	□ やや高い
効 琫	枢 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
		・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	・成果目標については「未来創造福知山」及び一般廃棄物処理基本計画に基づき設定した。(R4以降は「まちづくり構想 福知山」の成果指標及び一般廃棄物処理基本計画に基づき設定)	
有效	功 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	・指定ごみ袋の在庫数を毎月管理し、社会情勢に留意しながら在庫不足が生じない数量で発注を行った。	
		・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
			かったが、搬出量に応じた負担の公平性は確保できている。 一時的にごみの収集量が増加している。	
定性的 含めた自 及び現状	1己評価			
改善	<b>集策</b>		2R(リデュース、リユース)を呼びかけることでごみの排出量の削減を進める。 「能な社会への寄与を目的に、令和4年度に作成する燃やすごみの指定ごみ袋の素札 を25%以上利用することとする。	けについて、植物由来
VI =	次評価(	- (事業所属外による他部署評	価)	
事後評価	西コメント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
V∥ ≱¥	価をふす	ション シェン シェン シェン シェン シェン シェン シェン シェン シェン シェ		
VII 評	価をふま	えた次年度事業方針 方針区分	評価を踏まえた見直し内容	
│	課の 見直し び		評価を踏まえた見直し内容 予算編成に記入 (3次公表時)	
担当 事業の 及 予算要	課の 見直し び	方針区分	予算編成に記入	

# 福知山市 今和4年度事務事業評価シート | 事業属性

(単位:千円)

事業名	ごみ収集賞	運搬事業									事業コ	ード 54	0171		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひる	こりか	、自然、環境	竟や地域資源を	守り、	. 生かし、次 <sup>・</sup>	世代につないでいくまち	政策目標	2 地球	環境に	配慮した	た持続可	能なまち	づくり
以来评示	施策名	2 廃棄物の過	延	処理と循環	型社会の形成						施策コ	ード 22	2		
事業担当	所属	05050000 市月	総	務部 生活 <sup>3</sup>	環境課				所属長	四方	幸生				
会計情報	款	04 衛生費	項	02	清掃費	目	02	じん芥処理費	会計 0	一般会	注計 決	算付属資	資料	158	頁
計画期間	開始年度	昭和57年度	終	了予定年度	令和12年度	関	連計画名	福知山市一般廃棄物	処理基本詞	十画		R4現在	生の状況	継続	中
根拠法令等	廃棄物の	処理及び清掃に	関	する法律											
事業区分	□ 法定受	於託事務 □	国府	<b>莳補助事業</b>	☑ 市単独	事業	美 口 内部	部庶務的事業 口 その	の他 (						)
関連事業				•					•	•	•			•	•
		·						·							

尹耒登啶"	月 <b>羊</b> 区							
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	市民1人当りのごみ排出 の分別収集を確実に行い			れる家庭系廃棄	<b>ξ物(可燃、不燃、容器</b>	包装プラスチック、資源	<b>亰ごみ、粗大ごみ等</b>	()
対象者	全市民			対象者数	76,377	単位あたりコスト	6.3	
実施方法	□ 直接実施 ☑ 業務	務委託 □ 指5	定管理 🗆 補助金	交付 口	その他(			)
委託先•実施主体等	(株)クリーンセンター、(有)福環、福知	山環境センター企業	組合、エコノスジャパン	㈱、(公社)福知	山市シルバー人材センタ	一、㈱アクアテック、福気	山山環境事業協同組行	合
事業概要 (箇条書き)	安定的で円滑な収集運搬ゴミステーションの収集: F 粗大ごみ等収集: 2者			きる信用・技術	・経験を有する業者へ	委託する。		
	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容	!		
	委託料	474,069	収集運搬委託					
主な支出に係る								
業務内容と経費								

### ||| 予算執行状況

	区	了 <u>昇                                   </u>		R2(評価前年	午度)		R3(評価年	· retr /		R4(本年)	<b>*</b> )	D5/更:	求年度)	
	_			/左 / 日丁						1/4/4/1/		100(35)	<u> </u>	
_	-	当初予算			476,184			474,072			474,070			
予算	,	補正予算			0			0			0			
情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	<b>文</b> 曾纪:	成時記入	
,	小計	(① <b>~</b> ③)			476,184			474,072			474,070		《时記八 《表時》	
予	1	一般財源			301,645			329,848			287,547	(304)		
算	2	国支出金			0			0			0			
財源	3	府支出金			0			0			0			
内	4	地方債			0			0			0			
訳	⑤	その他特財			174,539			144,224			186,523			
24	1	流充用額			△ 49			0						
決算	2	配当予算			476,135			474,072						
情	3	執行額			473,383			474,069						
報	4	執行率			99.4%			100.0%						
人概	1	従事職員数 職員 / 非常動嘱託職員)	0.38	/	0.05	0.47	/	0.00	0.47	/	0.00	0.00	/ 0.	.00
工算	2	概算人件費			3,165			3,760			3,760			0
		リルコスト 額+概算人件費)			476,548			477,829			3,760			0
				指定ごみ袋	<b>炎処理手数料</b>			衛生手数料			84,38	86	14	
		利用特財 年度実績値)	特財名称	粗大ごみり	<b>双集手数料</b>		種類	衛生手数料		実績金額	2,91	1 決算付属資料	14	頁
					_									

### □ 業績指標

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	一人あたりのこ	ごみ排出量	g/人日	529.9	/	474.0	538.7	/	459.6	534.3	/	527.2	/	524.6	503.5
実績/目標	分別不良によ	るごみ残し数	袋	16011	/	7000	20975	/	6200	19655	/	6200	/	6200	6200
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動実績	ごみ収集量		t	13332	/	11929	13484	/	11603	13410	/	13149	/	13023	11603
(アウトプット)		単位あたり	コスト		34.7			35.1			35.4				
実績/計画					/			/			/		/		
		単位あたり:	コスト								•				

V — 2	欠評価(	(事業担当所属内による自己部	平価)	
項	目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
		・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	の必要性は高い。  ・家庭ごみ(可燃、不燃、容器包装プラスチック、資源ごみ、粗大ごみ等)の分別	
必要	性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か・目的・目標の達成手段として適切で、	収集を確実に行う。	
		優先度の高い事業か		☑ 高い
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	・技能と経験をもった民間業者に委託することにより、効率的な運営を図っている。	□ やや高い
効 率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が   施されているか		□ 低い
		・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	福知山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、家庭ごみの定期収集を分別区分別・地域別にステーション収集を実施した。	
有 効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
		・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		· 아~씨 `호사 나 그픈 ·
		の維持を図るという点では目的は果してい	ないが、ごみ排出量の削減を目指すため、家庭ごみの分別収集を確実に行い、衛生 る。 り、ごみステーション等の衛生的で快適な生活環境の維持管理をするうえでも正しし	
定性的な	>商土	オが不良により不回収となるこみが多数の   発ごみ排出量の削減に向け啓発を行う。	り、この人ナーション寺の開土的で伏迦な土冶環境の権持官理をするりんでも正した	いこのの方が相等、行
含めた自	己評価			
及び現状の	の味風			
			な分別指導啓発とあわせ収集等に関して市民からの苦情等に対して、素早く対処で により未回収となるごみが多数あるという現状の中では分別の徹底及び分別啓発!	
			シフト行くなか、2R(リデュース、リユース)を呼びかけるとともに正しいごみの分別に	
改善	妞		Jの元直して足ので日元で11.7。	
W =	ж			
VI = Z	欠評価(	(事業所属外による他部署評位 	西)	
事後評価:	コメント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
VII 評价	西をふま	 えた次年度事業方針		
		方針区分	評価を踏まえた見直し内容	
担当詞				
事業の見	ζ		予算編成に記入	
予算要求	<b>文方針</b>		( <b>3次公表時</b> )	
	真反 映			
		□現状維持	□ 予算拡充 □ 予算縮減	
予算反映	和术	□ 他事業を統合 (統合事業名:	) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:	

(単位:千円)

争耒禹性															
事業名	廃棄物処:	理施設等運転管	理	委託事業							事	業コード	540172		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひと	こりか	、自然、環境	竟や地域資源を <sup>9</sup>	守り	、生かし、次	世代につないでいくまち	政策目	標	2 地球環	境に配原	<b>重した持続</b>	一記なまで	ちづくり
以来评示	施策名	2 廃棄物の通	直正列	処理と循環:	型社会の形成						施	策コード	222		
事業担当	所属	05050000 市民	2.総系	务部 生活F	環境課				所属:	長	四方 幸生	Ė		,	
会計情報	款	04 衛生費	項	02	清掃費	目	02	じん芥処理費	会計	01	一般会計	決算付	」属資料	158	頁
計画期間	開始年度	平成28年度	終	了予定年度	令和12年度	関	連計画名	福知山市一般廃棄物	処理基:	本計	画	R4	現在の状	況 継糸	続中
根拠法令等	廃棄物の	処理及び清掃に	関す	「る法律、容	字器リサイクル	法、	ダイオキシ	ン特別措置法						,	
事業区分	□ 法定受	記事務 口	国府	<b>守補助事業</b>	☑ 市単独	事業	【 口 内·	部庶務的事業 口 その	の他	(					)
関連車業															

### || 事業基礎情報

	IR TK							
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	・環境パーク内のごみ焼まにより、搬入された可燃・ 資源の還元による省資源	下燃ごみ及び資源	ごみ等の焼却処理、資	源化及び減量				
対象者	全市民			対象者数	76,377	単位あたりコスト	1.9	
実施方法	□ 直接実施 ☑ 業系	務委託 □ 指第	定管理 🗆 補助金	交付 🗆	その他(			)
委託先•実施主体等	株式会社ファノバ 福知山	営業所						
事業概要 (箇条書き)	・焼却施設、リサイクルプラ 持管理を今後も行う。 ・3ヵ年の長期継続契約と			丁)の運転管理	を委託し、業者のもって	<b>ごいる専門的な知識</b>	を生かして、安定した	維
	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容	!		
	委託料	142,560	廃棄物処理施設の運	転及び点検・管	理			
主な支出に係る								
業務内容と経費								

### Ⅲ 予算執行状況

	į	X	分	F	R2(評価前:	年度)		R3(評価年	度)		R4(本年月	変)	R5(要:	求年度)	
	1	) 当	首初予算			142,560			145,002			168,129			
予	2	)補	<b>正</b> 予算			0			0			0			
算情	3	)繰	越予算			0			0			0			
報			前年度繰越			0			0			0			
			次年度繰越			0			0			0	<b>工管</b> 炉	# c= =o 7	
	小	#((	1)~(3)			142,560			145,002			168,129	予算編月 (3次公	以呼配ノ 入表時)	
予	1	) –	-般財源			36,638			0			0			
算	2	三	支出金			0			0			0			
財源	_		于 支出金			0			0			0			
内	_		<b>拉方债</b>			0			0			0			
訳	+		の他特財			105,922			145,002			168,129			
決	1		充用額			0			△ 2,442						
決算			2当予算			142,560			142,560						
情報	_		竹額			142,560			142,560						
TIA			竹率			100.0%			100.0%						
人概	Œ	) 従	事職員数	0.05	/	0.00	0.06	/	0.00	0.06	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	)概	類人件費			400			480			480			0
			<b>レコスト</b> +概算人件費)			142,960			143,040			480			0
		4. T.	m4+84		一般廃棄物	<b>勿手数料</b>			衛生手数料			71,28	0	14	
(N	王7	な村. 1年月	用特財 度実績値)	特財名称	産業廃棄物	<b>勿手数料</b>		種類	衛生手数料		実績金額	71,28	0 決算付属資料	14	頁

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	公害防止協定、	協定値の遵守		協定値以下	/	協定値以下	協定値以下	/	協定値以下	協定値以下	/	協定値以下	/	協定値以下	協定値以下
実績/目標					/			/			/		/		
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動実績	廃棄物処理量		t	24689	/	24620	23750	/	24584	22682	/	24242	/	23973	完全処理
(アウトプット)		単位あたり	コスト		5.6			6.0							
実績/計画					/			/			/		/		
		単位あたり	コスト												

	•	一一一	事業担当所属内による自己部	「一一」	ı
項		目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標   に対する貢献度
必	要	性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	・市民の生活に不可欠なごみ処理に係る事業であるため、廃棄物処理において、 法令の遵守と地元自治会との公害防止協定の遵守することにより市民生活の安 全安心を確保した。	
			・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑ 高い
			・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	・法令の遵守及び安全な処理を確保しつつ、施設の適正な維持管理を行い、計画的な整備を行うことで、施設の延命化をすることにより可能なコスト縮減、効率 化を図った。	□ やや高い
効	率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
			・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□低い
			・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	・成果目標については、遵守すべき法令及び公害防止協定をクリアした。 ・活動実績はごみ処理量としているが、計画量を下回った。 ・有効な技術等を常に研究し、運転管理に係る技術力の向上を図った。	
有	効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
			・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか	より、市内で発生する燃やすごみの安定かつ適正な廃棄物処理が行なえた。	
定性 含めた 及び現	:自己	評価	・ごみ処理の過程で発生する有害物質の発・老朽化が進む施設の予防保全に向けた過	3生を抑制、除去を行ない法令及び公害防止協定に定められている基準値を下回る 直転管理が必要となる。	測定結果を得た。
改	善	策	・廃棄物処理を安定かつ適正に処理を行な ・過去の運転データを基に効率的な運転手	うとともに、さらに効率化と経費の削減を図る。 法を検討する。	
VI =	<b>ニ</b> ガ	く評価(	事業所属外による他部署評価	б)	
事後評	呼価=	メント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
\/II <del>≥</del>	评任	をふま	えた次年度事業方針		
VII &			方針区分	評価を踏まえた見直し内容	
担: 事業:	及び	直し		予算編成に記入 (3次公表時)	
担: 事業 予算:	の見及び要求	直し	· 结果	予算編成に記入 (3次公表時)	

(単位:千円)

	尹未尚任													
	事業名	リサイクル	関連事業								事業コード	540194		
	政策体系	基本政策	2 市民一人ひと	とりが、自然、環境	竟や地域資源を	守り、	生かし、次	世代につないでいくまち	政策目	標 2 地球	は環境に配が	慮した持続	売可能なまち	づくり
	以来评示	施策名	2 廃棄物の通	適正処理と循環	型社会の形成						施策コード	222		
7	事業担当	所属	05050000 市民	民総務部 生活	環境課				所属县	题 四方	幸生	•		
	会計情報	款	4 衛生費	項 02	清掃費	目	02	じん芥処理費	会計	01 一般会	決算(	<b>古属資料</b>	158	頁
1	計画期間	開始年度	平成15年度	終了予定年度	令和12年度	関	連計画名	福知山市一般廃棄物	処理基本	z計画	R4	現在の状	況 継続	Þ
栫	<b>艮拠法令等</b>	廃棄物の	処理及び清掃に	関する法律										
7	事業区分	□ 法定受	託事務 🗆	国府補助事業	☑ 市単独	事業	<b>口内</b>	部庶務的事業 口 その	の他	(				)
	関連事業									•			•	

### || 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	再生資源物のリサイクル4 ごみ処理過程での火災や							
対象者	全市民			対象者数	76,377	単位あたりコスト	1.2	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務	務委託 □ 指足	定管理 🗆 補助金	交付 □	その他 (			)
委託先·実施主体等	(社)福知山市シルバー人	、材センター、(福)	ふくちやま福祉会、(福	)みつみ福祉会	:、(株)アクアテック、日	本容器包装リサイ	クル協会ほか	
	リサイクルプラザに搬入さ	カル咨询でムた!!-	サイケル車業来の引き	取り冬みに済る	>+4 Zたみの山門加!	四ナ 仁:坐 改ナ 禾台	L士 ヱ 士+_ ヱゎ	1-88十
事業概要 (箇条書き)	る施設や作業用機械等の		ッイグル事業有の引き	双ツ木 什に廻っ	ってんのための中间だっ	性を打つ未務を安計	<b>じゅる。また、てれ</b>	1〜 关  9
			ッイグル事業名のうで -	双り木 汁 に 迦 :	主な業務内容		t 9 る。また、てれ	1年第9
	る施設や作業用機械等の	維持管理を行う。 支出実績(R3)	消耗品、燃料代等	双り木 計 に 廻 ჺ			<b>たり る。また、てれ</b>	
(箇条書き)	る施設や作業用機械等の 支出に係る主な費目	維持管理を行う。 支出実績(R3) 1,132					<b>たり る。また、てれ</b>	
(箇条書き) 	る施設や作業用機械等の 支出に係る主な費目 需用費	維持管理を行う。 支出実績(R3) 1,132 287	消耗品、燃料代等	経費			t 9 る。ま <i>た</i> 、てれ	I〜
(箇条書き)	る施設や作業用機械等の 支出に係る主な費目 需用費 役務費	維持管理を行う。 支出実績(R3) 1,132 287 85,345	消耗品、燃料代等 不法投棄ごみ処分等;	経費			t 9 る。ま <i>た</i> 、てれ	

### ■ 予算執行状況

	į	X	分	F	R2(評価前年	度)		R3(評価年	度)		R4(本年月	変)	R5(要:	<b>求年度</b> )	
	1	) 当	首初予算			86,084			89,580			94,599			
予	2	)補	正予算			0			0			0			
算情	3	)繰	<b>桑越予算</b>			0			0			0			
報			前年度繰越			0			0			0			
			次年度繰越			0			0			0	予算編成	.r. c=±a+.	
	小言	#((	1)~(3)			86,084			89,580			94,599	3次公		
予	1	) –	-般財源			59,447			63,819			43,954			
算	2	三	支出金			0			0			0			
財源	_		支出金			0			0			0			
内	_		也方債			0			0			0			
訳	+-		の他特財			26,637			25,761			50,645			
決	1		充用額			0			0						
決算			2当予算			86,084			89,580						
情報	_		九行額			85,634			89,338						
			<b>执行率</b>			99.5%			99.7%						
人概			事職員数	0.29	/	0.00	0.62	/	0.00	0.62	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	)概	<b>聚算人件費</b>			2,320			4,960			4,960			0
			<b>レコスト</b> +概算人件費)			87,954			94,298			4,960			0
		4- T.I	m4+04		空き缶		·		物品売払収入	•		20,73	0	34	
(N	王7	な利。 1年月	用特財 度実績値)	特財名称	空きビン			種類	物品売払収入		実績金額	17	5 決算付属資料	34	頁
					有償入札拠	出金			雑入			6,52	5	48	

### V 業績指標

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	リサイクル率		%	16.2	/	25.3	14.7	/	26	14.6	/	16	/	24.4	28.9
実績/目標					/			/			/		/		
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動実績	リサイクル量(	中間処理分)	t	1642	/	2298	2932	/	2254	2859	/	1576	/	1560	2060
(アウトプット)		単位あたり	コスト		34.1			40.6			31.2				
実績/計画					/			/			/		/		
		単位あたり	コスト												

<u> </u>	欠評価(	(事業担当所属内による自己評	価)	
項	目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
		・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か・民間事業者や市民が自ら実施することの	資源ごみのリサイクルを促進することは、市民のごみ分別意識を高め、埋立処分場の延命化に繋がるため、必要性が高い。 環境パークリサイクルブラザ内で、資源毎の分別、保管を実施。	
必要	性	できない事業か		
		・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か	経験を持った民間業者に委託することにより、効率的な運営を図っている。	☑高い
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	経験を持つに氏間来省に安託することにより、効率的は連島を図っている。 資源毎に資源引渡業者と売払契約を締結し、再資源化に取組んでいる。	□ やや高い
効率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
		・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	成果目標については「まちづくり構想福知山」基本計画及び一般廃棄物処理基本  計画で設定している目標である。  令和3年度より、小型家電引き渡しに取組んでいる。	
有 効	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
		・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
		のリサイクル化施策の実行を促進させる必要	イクル率の目標を達成するために、ごみの減量化及び分別排出の精度を高める啓 更がある。 、国から提示される廃プラ処理方針に基づき、方策を進める。	発に努め、基本計画
定性的な 含めた自i 及び現状の	己評価			
改善	策	るよう調査検討する。	めに、ごみ分別排出の精度向上の啓発や、バイオマス燃料化等の取組み、効率的和4年度内に家庭系燃やさないごみの質分析調査を実施し、組成及びごみ分別に	
VI = Z	欠評価(	事業所属外による他部署評価	i)	
事後評価:	d/> . L		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
<b>学</b> 设计侧-	1 <b>/</b> 2/1		<b>学术们叫大心议(-6.4、(A) 外</b> 学术♥/(F)	
VII 評价	西をふま	えた次年度事業方針		
		方針区分	評価を踏まえた見直し内容	
担当関 事業の見 及び 予算要求	見直し C		予算編成に記入 (3次公表時)	
VIII 予算	算反映	結果		
予算反映	結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止 □ 他事業を統合 (統合事業名:	□ 予算拡充 □ 予算縮減 ) □ 他事業へ統合 (統合先事業名:	,

(単位:千円)

| 事業属性 事業名 福知山鉱山坑廃水処理場管理運営事業 事業コード 540601 基本政策 2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち 政策目標 2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり 政策体系 施策コード 222 施 策 名 2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成 事業担当 所属 25050000 産業政策部 産業観光課 所属長 山田 信義 02 商工業振興費 会計 01 一般会計 決算付属資料 会計情報 07 商工費 項 01 商工費 目 180 頁 開始年度 平成11年度 終了予定年度 令和8年度 計画期間 関連計画名 R4現在の状況 継続中 根拠法令等 鉱山保安法、鉱山保安法施行規則、水質汚濁防止法 事業区分 □ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 □ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 □ その他 関連事業

### || 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	旧福知山鉱山の坑道から 正に処理し、河川に放流					と安法施行規則及び水質	汚濁防止法に基づ	き適		
対象者	大江町の市民			対象者数	3,982	単位あたりコスト	5.1			
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業績	務委託 □ 指5	E管理 □ 補助金	☆交付 □	その他(			)		
委託先•実施主体等	維持管理·導水管洗浄業	務委託:トミタ環境(	朱) 汚泥埋立処分	·業務:(株)京都	<sup>3</sup> 環境保全公社	水質検査業務:(一社)項	京都微生物研究所	他		
事業概要 (箇条書き)	・旧福知山鉱山の坑道か を高分子凝集剤により沈 ・沈殿した汚泥は脱水し産 ・年間365日稼働。	殿させ、ろ過した処	理水を河川に放流する		K管により処理場	まで流し、消石灰により「	中和するとともに、፤	重金属		
	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務	務内容				
	需用費	3,995	施設修繕料、光熱水	費、消耗品費()	肖石灰、高分子凝	<b>是集剤等</b> )				
主な支出に係る	役務費	67	保険料、脱水汚泥溶	出検査等						
業務内容と経費	委託料 11,886 維持管理業務、導水管洗浄業務、汚泥埋立処分業務、配管洗浄業務 等									
	使用料及び賃借料	使用料及び賃借料 14 施設用地賃借料								

### Ⅲ 予算執行状況

	Ę	X	分	F	R2(評価前:	年度)		R3(評価年	度)		R4(本年月	変)	R5(要:	求年度)	
	1	) 当	的予算			19,905			19,418			17,823			
予	2	)補	正予算			0			0			0			
算情	3	)繰	越予算			0			0			0			
報			前年度繰越			0			0			0			
			次年度繰越			0			0			0	予算編月	战阵妇 1	
	小詞	<b>+</b> ((	1)~(3)			19,905			19,418			17,823		という 記り と表時)	
予	1	) –	-般財源			433			2,427			3,502			
算	$\vdash$		支出金			16,686			14,552			12,273			
財源	_		于支出金 -			2,781			2,425			2,045			
内	$\vdash$		方債			0						0			
訳	+-		の他特財			5			14			3			
決	1		充用額			0			△ 3,394						
決算	$\vdash$		2当予算			19,905			16,024						
情報	_		行額			17,322			15,962						
			行率			87.0%			99.6%						
人概			事職員数	0.28	/	0.00	0.53	/	0.00	0.53	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	)概	類人件費			2,240			4,240			4,240			0
			レコスト +概算人件費)			19,562			20,202			4,240			0
		4- T.	m4+84		休廃止鉱口	山鉱害防止事業			商工費国庫補	助金		10,19	5	18	
(N	王/	な村. 1年月	用特財 度実績値)	特財名称	休廃止鉱口	山鉱害防止事業		種類	商工費府補助	金	実績金額	1,69	9 決算付属資料	28	頁
					電柱等占月	用料			商工使用料				4	10	

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	処理日数のうち水質が目標	基準内で処理できた日数	日	365	/	365	365	/	365	365	/	365	/	365	365
実績/目標					/			/			/		/		
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動実績	処理日数		日	365	/	365	365	/	365	365	/	365	/	365	365
(アウトプット)		単位あたり	コスト		55.6			47.5			43.7				
宝錦 /計画	水質検査	•	口	12	/	12	12	/	12	12	/	12	/	12	12
		単位あたり	コスト		1692.6			1443.5			1330.2				

項	-			
70	目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標   に対する貢献度
必要	. 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	業 現在でも処理前の原水は基準値を逸脱した水質であり廃水処理の必要がある。また、鉱山事業主が不在となった鉱山のため行政が行う必要がある。 鉱山からの廃水を適正に処理し、河川に放流することは、市民生活の安全の確保と流域の自然環境の保全につながるため必要性は高い。	
		・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か		☑ 高い
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	受益者である在田川流域の住民は少数であるが、広域的な見方をすると在田川 が合流する由良川下流域にも影響する事業である。維持管理費や薬剤費、運搬 業務等は毎回複数業者による入札(見積徴収)を実施しており、経費削減に努め	□ やや高い
効 琫	区 性	・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	ている。 また、修繕計画を国や府と共有し、補助金を活用することによりコスト削減を図っている。	□ やや低い
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が   施されているか		□低い
		・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	維持管理運転及び施設修繕等を計画的に実施しており、365日基準内の水質で 廃水処理が行えている。	
有效	竹性	・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか		
		・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
			- 「 に行うほか、緊急修繕等にも対応し、目標基準内での排水処理を実行している。 委託業者に指示するにあたり、水質管理や施設修繕等に関する一定の技術的な知識 更である。	、能力が求められる。
定性的: 含めた自 及び現状	己評価	+ <del>th = 0.1.1.2.4.4.1.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2.2</del>		<b>-</b>
改善	手策			
VI =	次評価	      事業所属外による他部署評	価)	
事後評価		(事業所属外による他部署評	価) 事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
事後評価	シント			
事後評価	シント	えた次年度事業方針	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
事後評価	ロメント 価をふ、ま 関の 見直し び			
事後評価 ・ ジョン・ ジョン・ ジョン・ ション・ ション・ ション・ ション・ ション・ ション・ ション・ シ	ロメント 価をふ、ま 関の 見直し び	えた次年度事業方針 方針区分	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)  評価を踏まえた見直し内容  予算編成に記入	

(単位:千円)

事業名	水洗化促进	<b>進補助事業</b>							;	事業コート	540318		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひと	≤りが、自然、環	境や地域資源を	守り	、生かし、次	世代につないでいくまち	政策目標	2 地球	環境に配	慮した持糸	売可能なま	ちづくり
以来评示	施策名	2 廃棄物の適	正処理と循環	型社会の形成					1	施策コート	222		
事業担当	所属	75010000 上	下水道部 経常	営総務課				所属長	間島哲書	钱			
会計情報	款 0	4 衛生費	項 02	清掃費	目	01	清掃総務費	会計 0	1 一般会	計決算化	寸属資料	154	頁
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和8年度	関	連計画名	福知山市循環型社会	形成推進	地域計画	R	4現在の状	紀 継続	売中
根拠法令等	福知山市	争化槽設置整備	<b>事業補助金</b> 3	を付要綱、福知	山市	浄化槽維持	<b>肯管理事業補助金交付</b>	要綱					
事業区分	□ 法定受	託事務 ☑	国府補助事業	€ ☑ 市単独	事	業 口内部	部庶務的事業 □ その	の他 (					)
関連事業													

### || 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	浄化槽整備区域内の水流	も化を促進すること	で、生活排水による水	質汚濁防止及で	び快適で住みよい生活	環境の形成を図る	•							
対象者	浄化槽整備区域内の居住	E者等		対象者数	3,623	単位あたりコスト	19.6							
実施方法	☑ 直接実施 □ 業務	務委託 □ 指2	定管理 ☑ 補助金	交付 🗆	その他 (									
委託先•実施主体等														
事業概要 (箇条書き)	備事業補助金を交付する	槽整備区域において、浄化槽の設置及び適正な維持管理を促進するため、10人槽以下の合併処理浄化槽を設置する者に対し、浄化槽設置整 業補助金を交付する。 し尿と雑排水を併せて処理する浄化槽を設置し、適正に維持管理している者に対し、浄化槽維持管理事業補助金を交付する。												
	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容									
	役務費	73	郵送料											
主な支出に係る	負担金補助及び交付金	4,293	合併処理浄化槽整備	事業補助金										
業務内容と経費	負担金補助及び交付金	42,471	2,471 合併処理浄化槽維持管理事業補助金											
	負担金補助及び交付金	18,632	浄化槽汚泥処理負担	金										

### Ⅲ 予算執行状況

<u></u>		丁昇	/\ <i>//</i> L						D4/十年中)					
	Z	分	F	<b>R2(評価前年度)</b> 64,073			R3(評価年	■度)		R4(本年)	变)	R5(要:	求年度)	
	1	当初予算			64,073			64,070			65,730			
予	2	補正予算			0			0			0			
算情	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越			0			0			0			
		次年度繰越			0			0			0	<b>子管矩</b> :	龙時記入	
	小計	·(①~③)			64,073			64,070			65,730		表時)	
予	1	一般財源	·					60,432			63,474			
算財	2	国支出金		1,819 1,819				1,819			1,128			
源	3	府支出金		1,819				1,819	1,1					
内	4	地方債		0			0							
訳	<b>⑤</b>	その他特財			0			0						
決	1	流充用額			0			1,399						
算	2	配当予算			64,073			65,469						
惰報	3	執行額			63,007			65,469						
THA	_				98.3%			100.0%						
人概	()	従事職員数 E職員/非常動嘱託職員)	0.60	/	0.10	0.70	/	0.00	0.70	/	0.00	0.00	/ 0.	.00
工算	2	概算人件費			5,050			5,600			5,600			0
		ルコスト 「額+概算人件費)			68,057			71,069			5,600			0
	<u> </u>	T.I CT 4+ D.I.		合併処理消	争化槽設置整備	事業		衛生費国庫補	助金		7	02	18	
		:利用特財 年度実績値)	特財名称	合併処理治	<b>净化槽設置整備</b>	事業	種類	衛生費府補助	金	実績金額	1,1:	27 決算付属資料	26	頁

### IV 業績指標

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	水洗化率		%	68.5	/	0	69.0	/		69.2	/		/	69.7	71.7
実績/目標	処理人口		人	2631	/	0	2563	/		2506	/		/	2500	2476
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動美積 (アウトプット) 実績ノ計画	新規設置数		基	4	/	14	5	/	14	9	/	14	/	9	9/年
		単位あたりコスト		15832.5			12601.4			7274.3					
	維持管理補助金交付件数		件	1295	/	1301	1292	/	1298	1287	/	1295	/	1298	1310
		単位あたりコスト		48.9			48.8			50.9					

<u> </u>	八叶四	(事業担当所属内による自己	1 評価 /						
項	目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度					
必 要	<b>E 性</b>	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事か ・民間事業者や市民が自ら実施することできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か	生活排水による水質汚濁防止及び快適で住みよい生活環境の形成を図るため、	☑ 高い					
勃 琫	≚ 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	ストは妥当な水準か の手段や方法とのコスト比較は ・分行われているか スト削減や効率化に向けた工夫が						
有效	力 性	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか							
定性的 含めた自 及び現状	己評価	(達成率43%)であった。 未達成の原因として、浄化槽整備区域が る。 しかしながら、新規設置の18世帯におい 1,287基の合併処理浄化槽の適正な組 る。	回における令和元年度から令和3年度までの3か年の設置目標基数42基に対して、新 が山間部であり過疎、高齢化が進んでいることや浄化槽の必要性や費用負担等の理由 いて、し尿のくみ取りや家庭から雑排水の排出を合併処理浄化槽により水洗化でき、令 推持管理が行われており、生活排水による水質汚濁防止及び快適で住みよい生活環境 管理を促進するためにも、設置及び維持管理にかかる補助制度を浄化槽整備区域内	によるものと考えられ 和3年度時点では きの形成が図られてい					
改善	<b>策</b>	浄化槽整備区域内における合併処理浄	化槽未設置者に対し、設置及び維持管理にかかる補助制度を周知する。						
VI =	次評価	! (事業所属外による他部署評	⊉価)						
事後評価	iコメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)							
VII 評·	価をふま	えた次年度事業方針							
		方針区分	評価を踏まえた見直し内容						
担当 事業の 及び 予算要3	見直し び		予算編成に記入 (3次公表時)						
事業の 及び 予算要3	見直し び	<b>結果</b>							